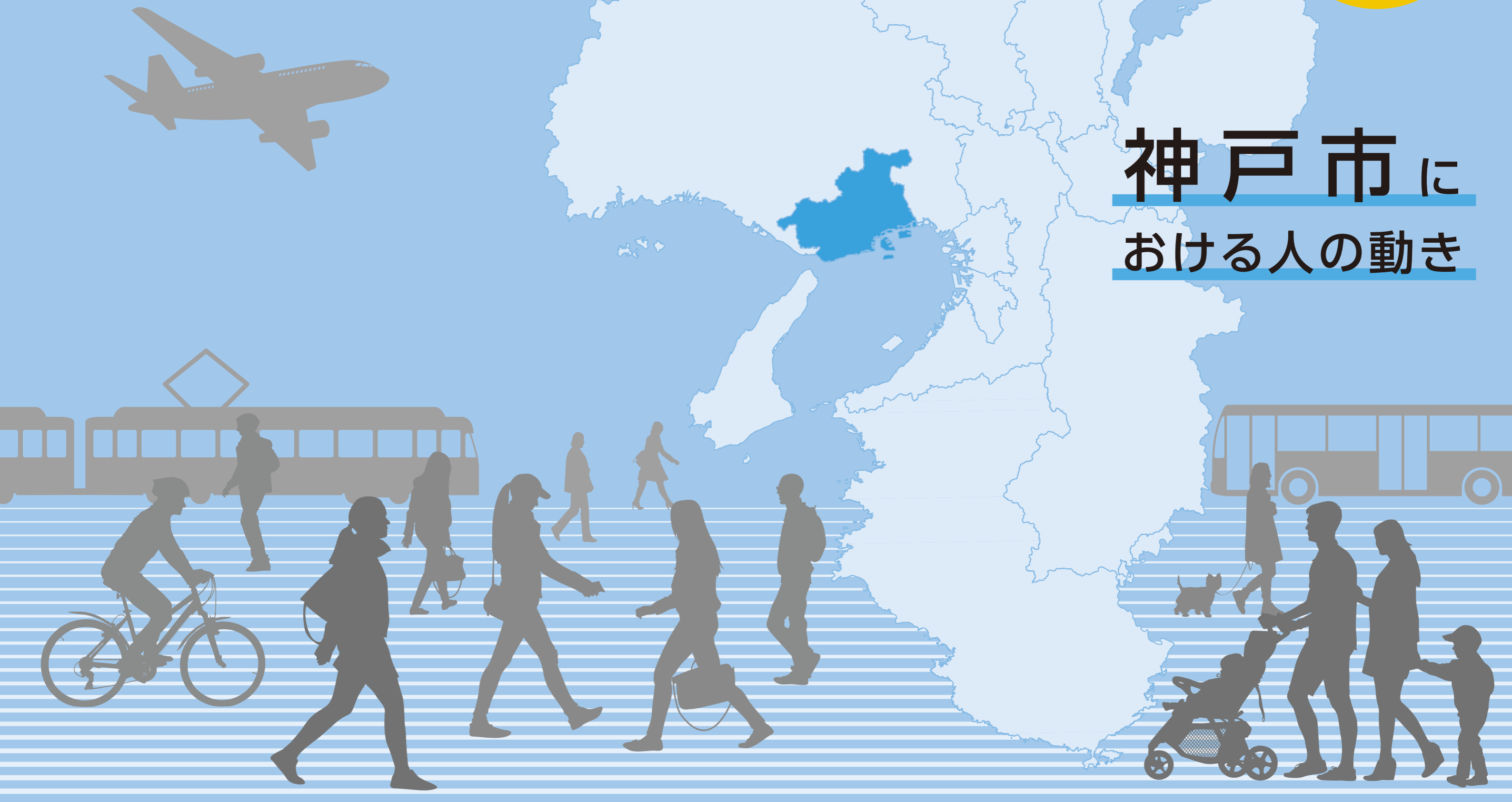


令和6年3月
神戸市

令和3年
第6回近畿圏
パーソントリップ調査
結果から

神戸市に おける人の動き



CONTENTS / 目次

■ はじめに	01
■ 第6回パーソントリップ調査の概要	02
■ 結果の概要	03
■ 神戸市の概要	04
■ 神戸市全体の人の動き	06
■ 交通手段別の人の動き	09
■ 高齢者の動き	14
■ 新型コロナウイルス感染拡大による影響	16
■ 調査票	17

■ はじめに

近畿圏は、京都市・大阪市・堺市・神戸市の大都市や大津市・姫路市・奈良市・和歌山市等の中核都市が共存する多核型の都市圏です。このような特徴的な構造を持つ都市圏の活性化に資する総合都市交通体系を確立するためには、広範囲な地域間の連携が不可欠です。

このため、京阪神都市圏交通計画協議会[※]では、人の動きに着目したパーソントリップ調査を昭和45年（1970年）に初めて実施し、その後10年ごとに5回の調査を行い、都市交通政策の検討に活用してきました。

令和3年（2021年）には「第6回近畿圏パーソントリップ調査」を実施し、神戸市では、約7千世帯・約1万3千人の方からご回答（調査票の返送・インターネットによる回答）をいただきました。大変多くの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本書は、第6回近畿圏パーソントリップ調査結果から、主な項目について神戸市を中心に取りまとめたものです。皆様が交通についてお考えになる際に、少しでもお役にたてれば幸いです。

[※] 京阪神都市圏交通計画協議会
国土交通省、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、西日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、独立行政法人都市再生機構、関西鉄道協会、近畿バス団体協議会

第6回パーソントリップ調査の概要

1 パーソントリップ調査とは

パーソントリップ調査(パーソン=人、トリップ=動き)とは、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」移動したのかについて調査し、人の1日のすべての動きをとらえるものです。

2 調査の対象

調査日：令和3年9月～11月

平日・休日各1日

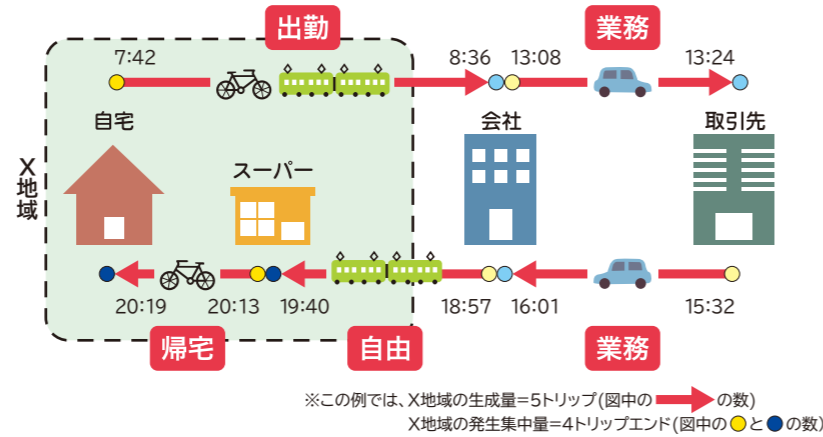
調査対象者：近畿圏全域(2府4県)にお住まいの5歳以上の方を無作為に抽出

調査手法：郵送配布、Web・郵送回収

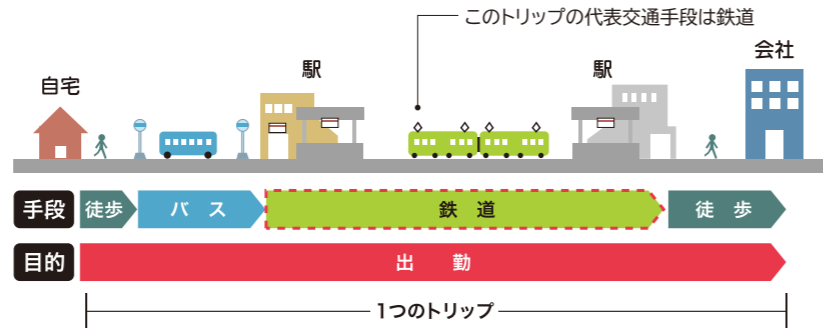
3 第6回調査の特徴

①Web回収を中心とした調査手法の拡大
②スマートフォンを活用したアプリによる回答手法の導入など、新たな取り組みを実施しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大による外出状況の変化(頻度や移動手段の変化)を捉える補完調査をあわせて実施しました。

人の1日の動きの例



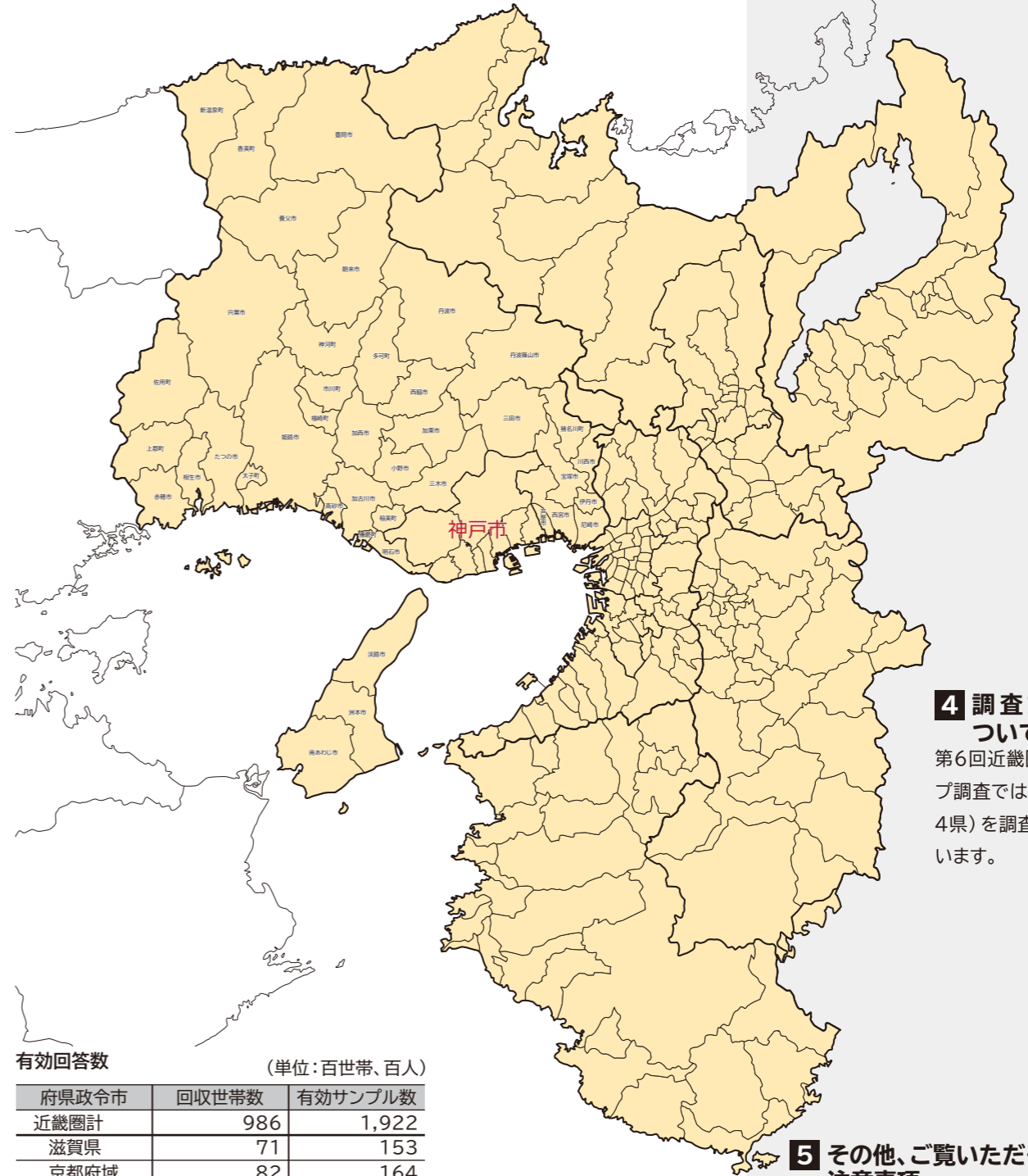
1つのトリップ及び代表交通手段の例



用語の説明

夜間人口	対象地域における居住人口です。
外出人口	居住人口のうちある1日に外出した人口です。
トリップ	人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」へ移動する単位で、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
トリップエンド	1人1人の動きを「トリップ」というのに対し、1つのトリップの出発側と到着側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
トリップの目的	出勤・登校・自由・業務・帰宅に分けられます。自由は買物、食事、レクリエーション等の生活関連のトリップ。業務は打合せ・会議、販売・配達、作業、農作業等の仕事上のトリップです。
発生集中量	ある地域内に出発地または到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものです。
生成量	ある地区内に住んでいる人が1日に行うトリップの総数です。
生成原単位	ある地区内に住んでいる人が1日に行う平均のトリップ数です。
外出率	ある1日に外出した人数の全人口(夜間人口)に対する割合です。
交通手段分担率	ある交通手段のトリップ数の全交通手段のトリップ数に占める割合です。
代表交通手段	鉄道、バス、自動車、二輪(自転車、原付、自動二輪車)、徒歩、その他(飛行機や船等)があり、1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合は主な交通手段を代表交通手段としています。 鉄道→バス→自動車→二輪(自転車、原付、自動二輪車)→徒歩の順で、最も優先順位の高いものとしています。 (例：会社への出勤トリップ及び代表交通手段(この場合は鉄道))

調査圏域図



4 調査対象圏域について

第6回近畿圏パーソントリップ調査では、近畿全域(2府4県)を調査対象圏域としています。

5 その他、ご覧いただく上での注意事項

- 本調査では物の動きにかかわる貨物車や営業用車(営業貨物車、タクシーなど)の運行に関する交通は調査の対象外としています。
- 各図表の合計値や伸び、構成比の値は四捨五入のため、内訳数値から算出される値と一致しない場合があります。

有効回答数

(単位：百世帯、百人)

府県政令市	回収世帯数	有効サンプル数
近畿圏計	986	1,922
滋賀県	71	153
京都府域	82	164
大阪府域	223	439
兵庫県域	182	366
奈良県	80	162
和歌山県	70	140
京都市	62	113
大阪市	114	194
堺市	33	63
神戸市	69	129

注) 京都府域は京都市、大阪府域は大阪市と堺市、兵庫県域は神戸市を除く

結果の概要

ここでは、本パンフレットに掲載している各項目について、結果の概要や特徴的な交通実態を示します。

1. 神戸市の概要

●結果の詳細は04～05ページ

(1) 夜間人口の推移

- ◆ 神戸市の夜間人口（5歳以上）は、平成22年から令和3年にかけてほぼ変化はありませんが、年齢構成比を見ると、**高齢者（65歳以上）の割合は約7ポイント増加し、15～64歳では約6ポイント減少**しています。
- ◆ 区別の夜間人口（5歳以上）を見ると、平成22年から令和3年にかけて、**東灘区から兵庫区にかけての東部で増加**しており、特に**中央区の増加が多くなっている**一方で、**長田区～垂水区の西部と、西区、北区の内陸部では減少**しています。

(2) 将来人口の推移

- ◆ 神戸市全体の将来人口については、**令和2年（2020年）から令和22年（2040年）にかけて約15%減少**する一方で、**高齢者人口は約11%増加し、50万人を超える**と見込まれています。
- ◆ 区別の将来人口については、**令和2年（2020年）から令和12年（2030年）までは増加**しますが、その他の**8区ではすべて減少が進む**と見込まれています。最も減少幅が大きいのは**北区で、令和22年（2040年）には約26%以上減少**すると見込まれています。

2. 神戸市全体の人の動き

●結果の詳細は06～08ページ

(1) 総トリップ数と1人当たりトリップ数

- ◆ 神戸市の平日の発生集中量を見ると、**平成22年から令和3年にかけて16%の減少**となっています。休日では**平成22年から令和3年にかけて14%の減少**となっており、平日よりも減少割合が少し小さくなっています。
- ◆ 年齢階層別の生成原単位を見ると、平成22年から令和3年にかけて**平日ではすべての年齢階層において減少**しており、特に20～29歳の減少割合が大きくなっています。休日では、**75歳以上を除くすべての年齢階層において減少**しており、特に19歳以下の減少割合が大きくなっています。

(2) 目的別及び代表交通手段別トリップ数

- ◆ 発生量・集中量におけるトリップの目的構成比の平成22年からの推移を見ると、**平日では出勤目的の割合が増加**する一方で、**業務目的や自由目的では減少**しています。一方で、休日ではいずれの目的においても大きな変化は見られません。
- ◆ 発生集中量におけるトリップの代表交通手段構成比の平成22年からの推移を見ると、平日では大きな変化は見られません。一方で、**休日では徒歩の割合の増加と自動車の割合の減少**がやや大きくなっています。

3. 交通手段別の人の動き

●結果の詳細は09～13ページ

(1) 目的別に見た利用交通手段

- ◆ 目的別の代表交通手段構成比の平成22年からの推移を見ると、**出勤目的では鉄道の割合が2.1ポイント増加し、登校目的では3.7ポイント減少**しています。一方、**自由目的では自動車の割合が1.6ポイント増加し、鉄道の割合は1.1ポイント減少**しています。

(2) 鉄道利用の推移

- ◆ 鉄道トリップ数の平成22年からの推移を見ると、**神戸市全体では約12%減少**しています。区別では全ての区で減少しており、**特に西区と北区の減少幅が大きく、20～25%の減少幅**となっています。

(3) 自動車利用の推移

- ◆ 自動車トリップ数の平成22年からの推移を見ると、**神戸市全体では約16%減少**しています。区別では**特に灘区、中央区の減少幅が大きく、約25%の減少幅**となっています。
- ◆ 性別・年齢階層別の自動車分担率を見ると、**男性では25～39歳、女性では20～29歳での減少**が目立つ一方、**男性では70歳以上、女性では55歳以上で増加**しています。

(4) 徒歩利用の推移

- ◆ 区別の徒歩トリップ数の平成22年からの推移を見ると、**すべての区で減少**しており、中でも**特に西区、北区の減少幅が大きい**一方、中心市街地の**中央区ではわずかな減少**にとどまっています。

4. 高齢者の動き

●結果の詳細は14～15ページ

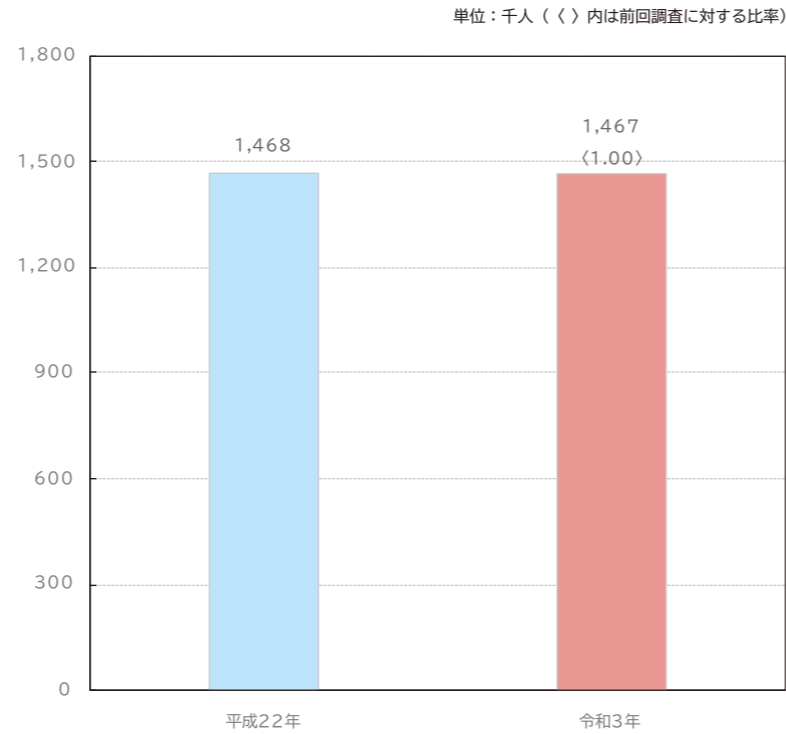
- ◆ 高齢者（65歳以上）の人口の平成22年からの推移を見ると、**前期高齢者（65～74歳）は16%、後期高齢者（75歳以上）は41%の増加**となっていますが、高齢者のトリップ数の推移は、**前期高齢者は2%、後期高齢者は36%の増加**となっており、**人口の増加幅を下回っています**。
- ◆ 高齢者の代表交通手段構成の平成22年からの推移を見ると、**前期高齢者では自動車の割合が3.8ポイント増加し、徒歩の割合が4.4ポイント減少**した結果、**自動車と徒歩の分担率が逆転**しています。
- ◆ 後期高齢者も同様の傾向で**自動車の割合が5.3ポイント増加し、徒歩の割合が3.3ポイント減少**していますが、依然として**徒歩が最大の分担率**になっています。
- ◆ 高齢者の自動車トリップにおける運転者属性構成比を区別に見ると、前期高齢者に比べて、**後期高齢者では「自分で運転する」割合が低く、「家族に送迎してもらう」や「その他」の割合が高い区が多くなっています**が、**中央区では後期高齢者の「自分で運転する」割合が前期高齢者を5ポイント以上上回っています**。また、**中央区、北区、須磨区、兵庫区では、「自分で運転する」後期高齢者が、神戸市平均以上の割合**となっています。
- ◆ 高齢者の外出率の平成22年からの推移を区別に見ると、灘区以外のすべての区で減少しています。**神戸市全体では約3ポイント減少**している中で、**特に減少が大きいのは兵庫区で、7ポイント減少**しています。
- ◆ 高齢者の自動車分担率の平成22年からの推移を区別に見ると、すべての区で増加しています。**神戸市全体では約4ポイント増加**している中で、**特に増加が大きいのは北区で、約8ポイント増加**しています。

神戸市の概要 (1/2)

① 夜間人口の推移

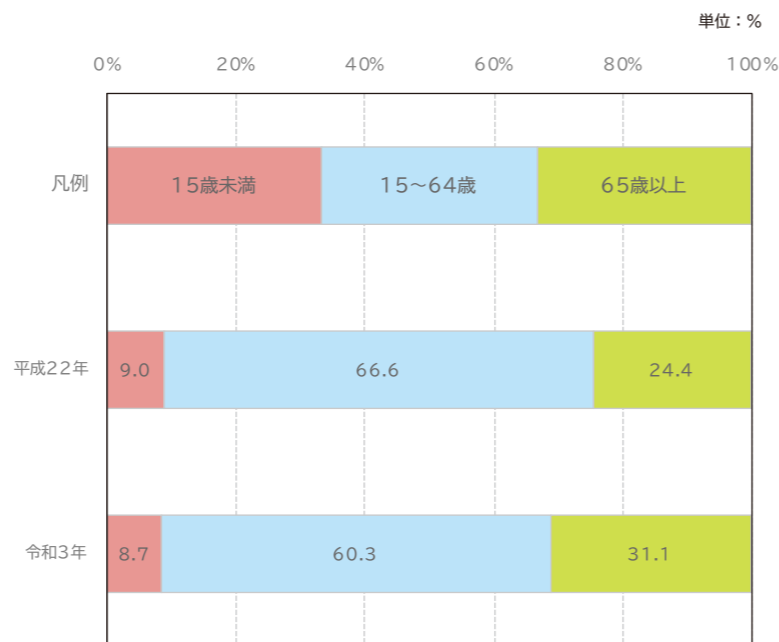
●神戸市居住者の人口は、平成22年から令和3年にかけてほぼ変化はありません。

◆ 夜間人口(5歳以上)の推移



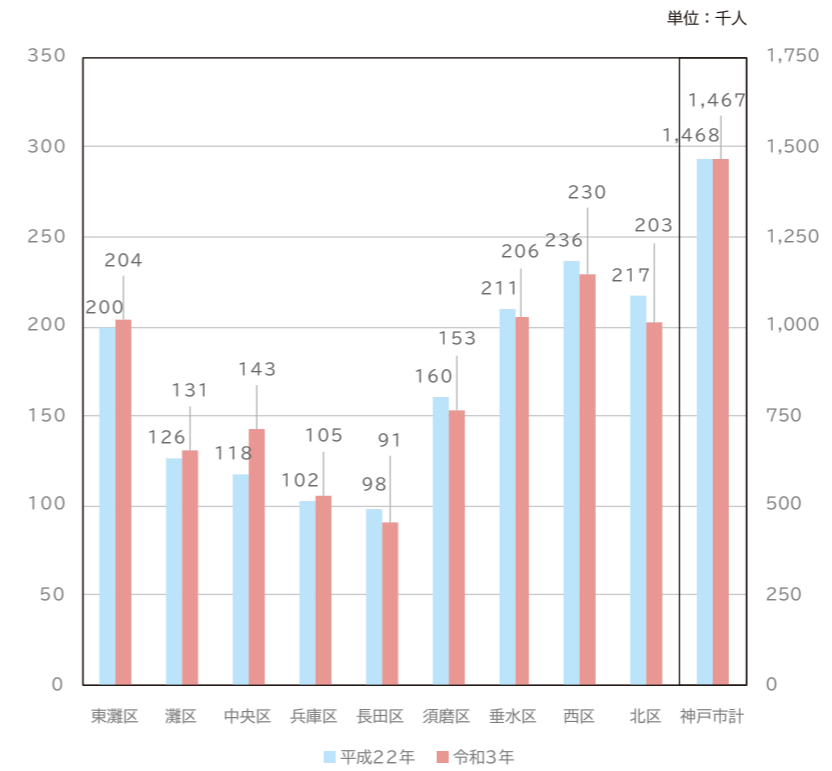
●年齢構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて高齢者(65歳以上)の割合は約7ポイント増加しており、15~64歳では約6ポイントの減少、15歳未満の若年層の割合はわずかな減少となっています。

◆ 夜間人口(5歳以上)の年齢構成比の推移



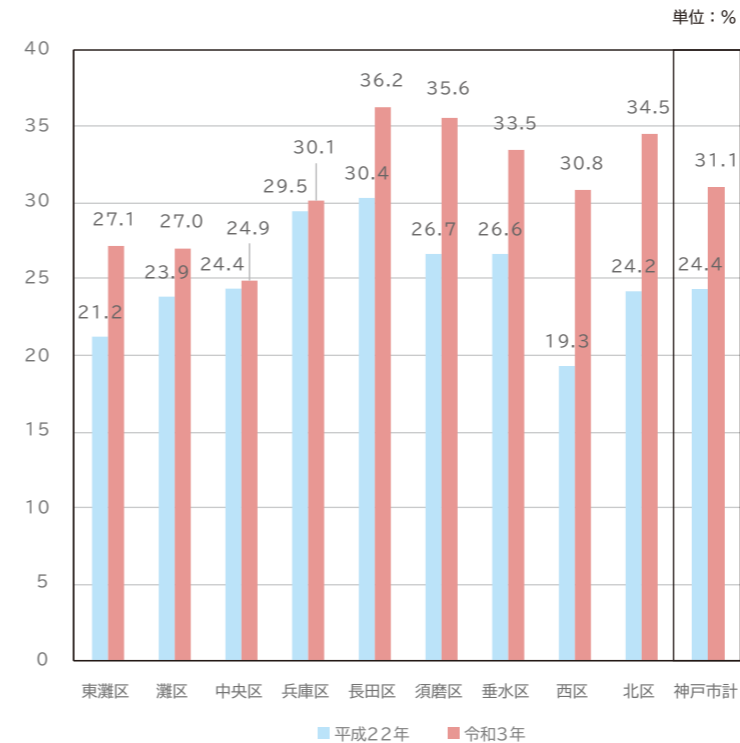
注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります。

◆ 区別の夜間人口(5歳以上)の推移



注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

◆ 区別の高齢化率の推移



高齢化率：夜間人口(5歳以上)に対する高齢者(65歳以上)人口の割合

●区別の人口推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、東灘区から兵庫区にかけての東部で増加しており、特に中央区の増加が多くなっています。

●一方で、長田区~垂水区の西部と西区、北区の内陸部では減少しています。

●区別人口の高齢化率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で高齢者の割合が増加しており、中央区と兵庫区以外は増加割合も大きくなっています。

●特に、須磨区、西区、北区といった住宅団地を含む地域の高齢化率の増加が目立ちます。

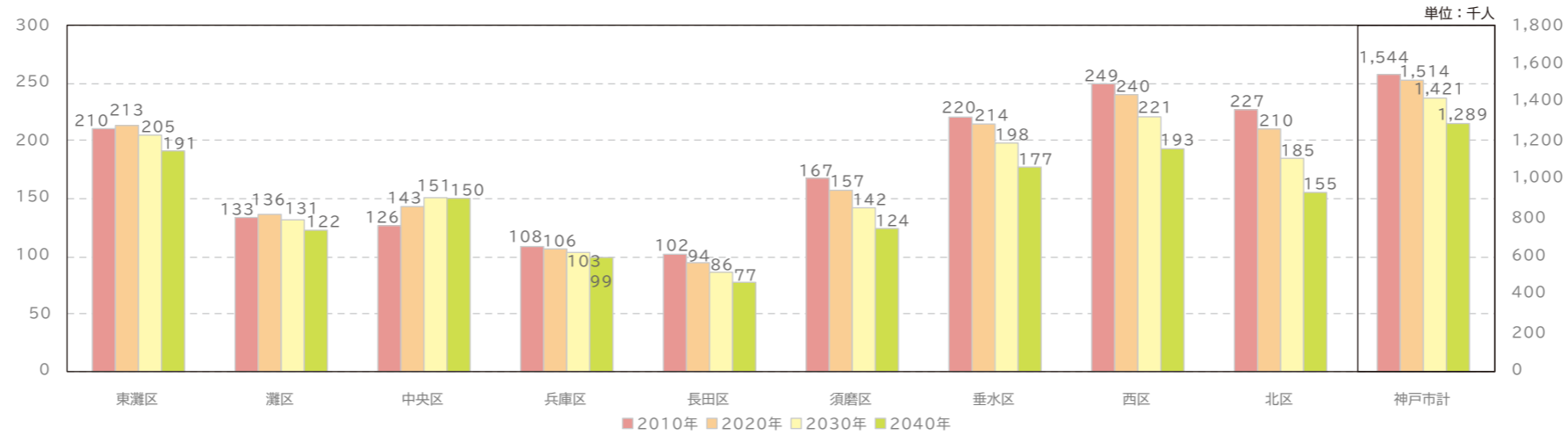
●また、平成22年では高齢化率30%を超えていたのは長田区だけでしたが、令和3年では東灘区、灘区、中央区以外はすべて30%を超え、長田区と須磨区は35%に達しています。

神戸市の概要 (2/2)

2 将来人口の推移

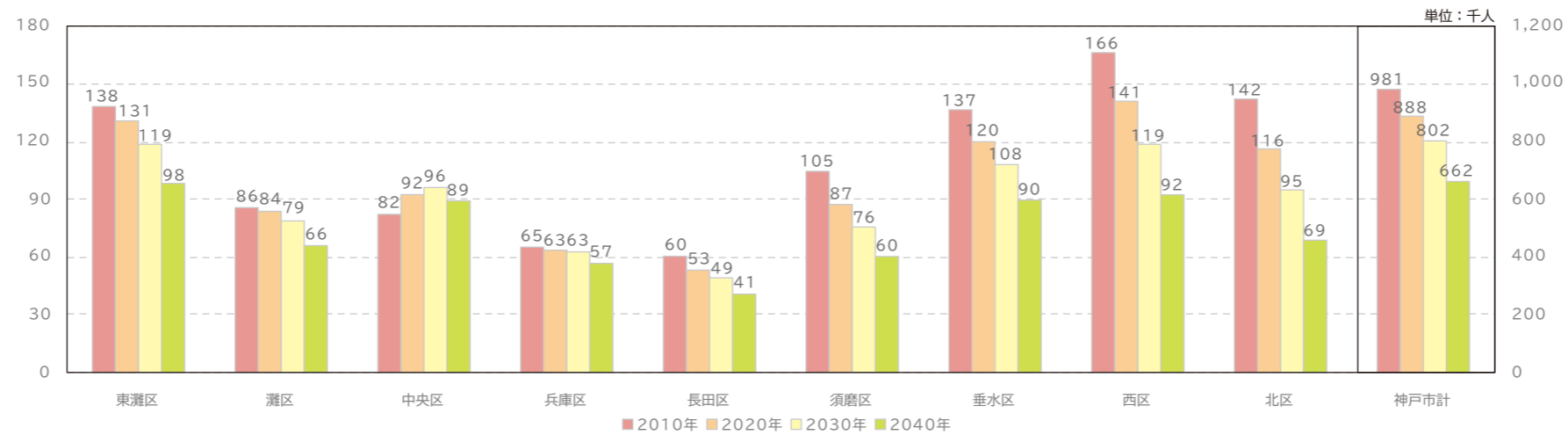
- 神戸市全体の将来人口については、令和2(2020)年から令和22(2040)年にかけて、約225千人(約15%)減少すると見込まれています。
 - 区別の将来人口の推移を見ると、中央区のみ令和2年(2020年)から令和12年(2030年)までは増加しますが、その他の8区ではすべて減少が進むと見込まれています。
 - 最も減少幅が大きいのは北区であり、20年後に約55千人(約26%)減少すると見込まれています。
-
- 神戸市全体の将来の生産年齢人口については、令和2年(2020年)から令和22年(2040年)にかけて約226千人(約25%)減少すると見込まれています。
 - 区別の将来の生産年齢人口の推移を見ると、中央区のみ令和2年(2020年)から令和12年(2030年)までは増加しますが、その他の8区ではすべて減少が進むと見込まれています。
 - 最も減少幅が大きいのは北区であり、20年後には約47千人(約41%)減少すると見込まれています。
-
- 神戸市全体の将来の高齢者人口については、令和2年(2020年)から令和22年(2040年)にかけて約51千人(約11%)増加し、50万人を超えると見込まれています。
 - 区別の将来の高齢者人口の推移を見ると、令和2年(2020年)から令和22年(2040年)にかけて長田区では約1千人(約5%)減少、須磨区では約1千人(約2%)減少し、他の区では増加すると見込まれています。
 - 最も増加幅が大きいのは東灘区であり、20年後には約17千人(約30%)増加すると見込まれています。

◆ 区別の将来人口の推移



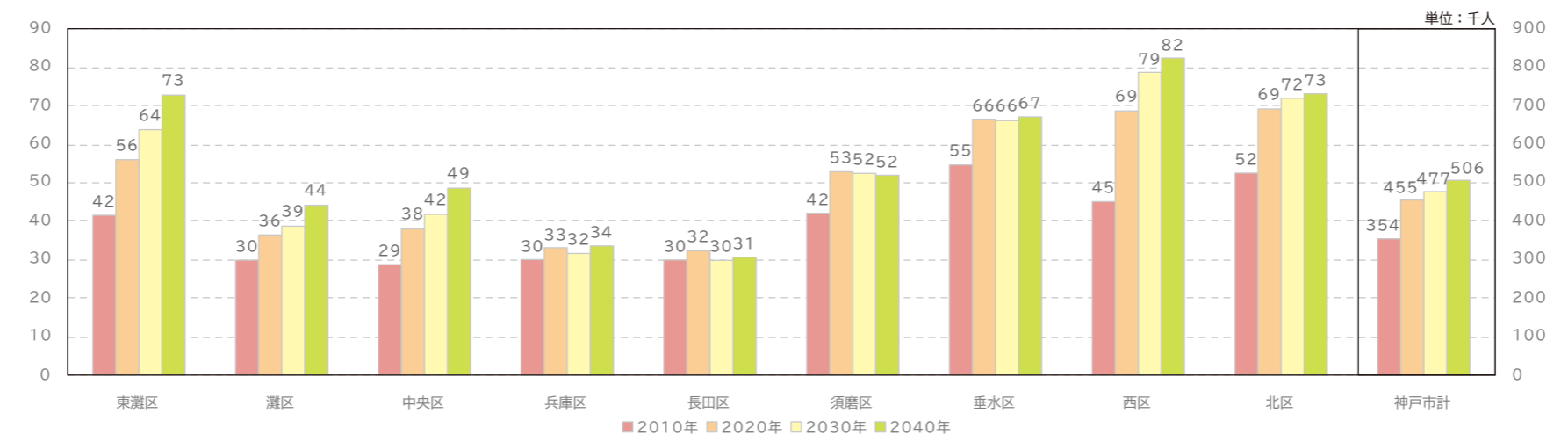
資料：2010年…国勢調査
2020年～2040年…「兵庫県将来推計人口(2019年11月)」(兵庫県企画県民部)

◆ 区別の生産年齢人口の推移



資料：2010年…国勢調査
2020年～2040年…「兵庫県将来推計人口(2019年11月)」(兵庫県企画県民部)

◆ 区別の将来の高齢者人口の推移



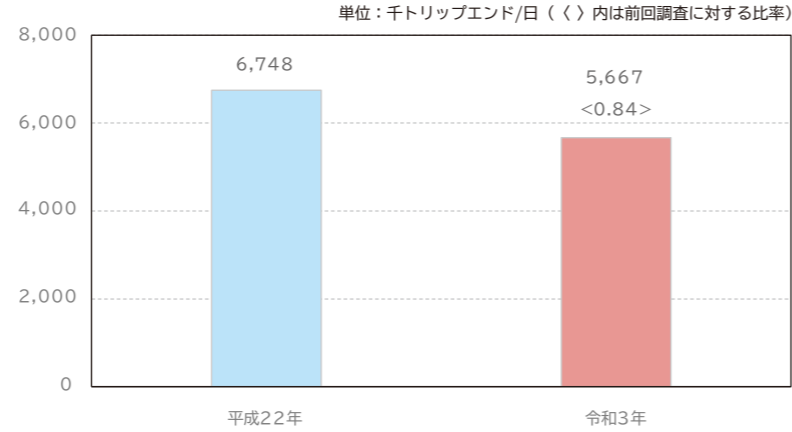
資料：2010年…国勢調査
2020年～2040年…「兵庫県将来推計人口(2019年11月)」(兵庫県企画県民部)

神戸市全体の人の動き (1/3)

① 総トリップ数と1人当たりトリップ数

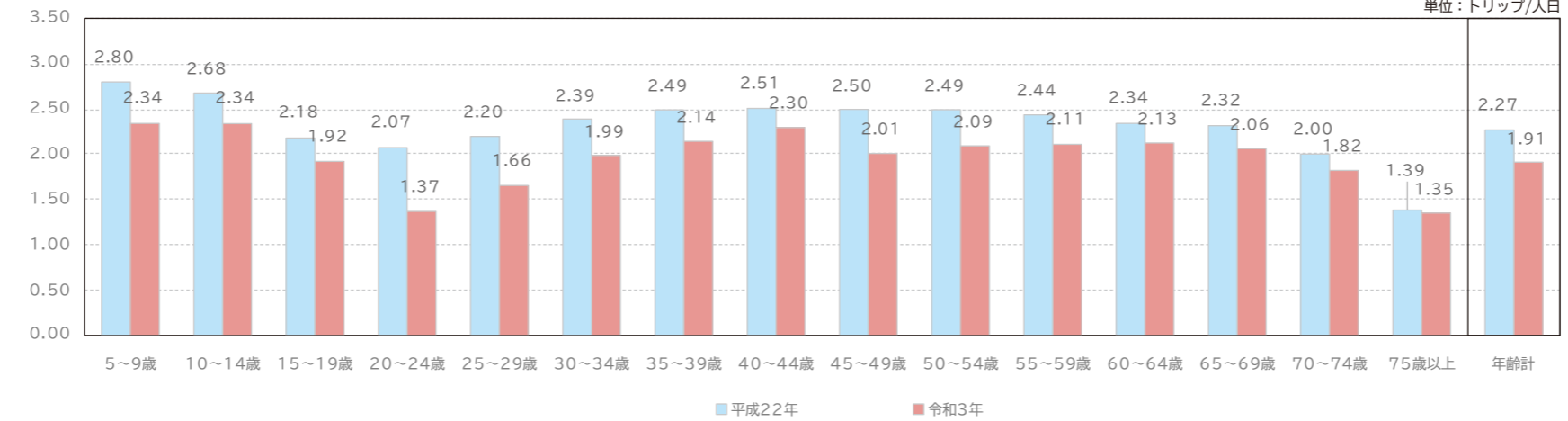
●神戸市の平日の発生集中量の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて16%の減少となっています。

◆発生集中量の推移(平日)



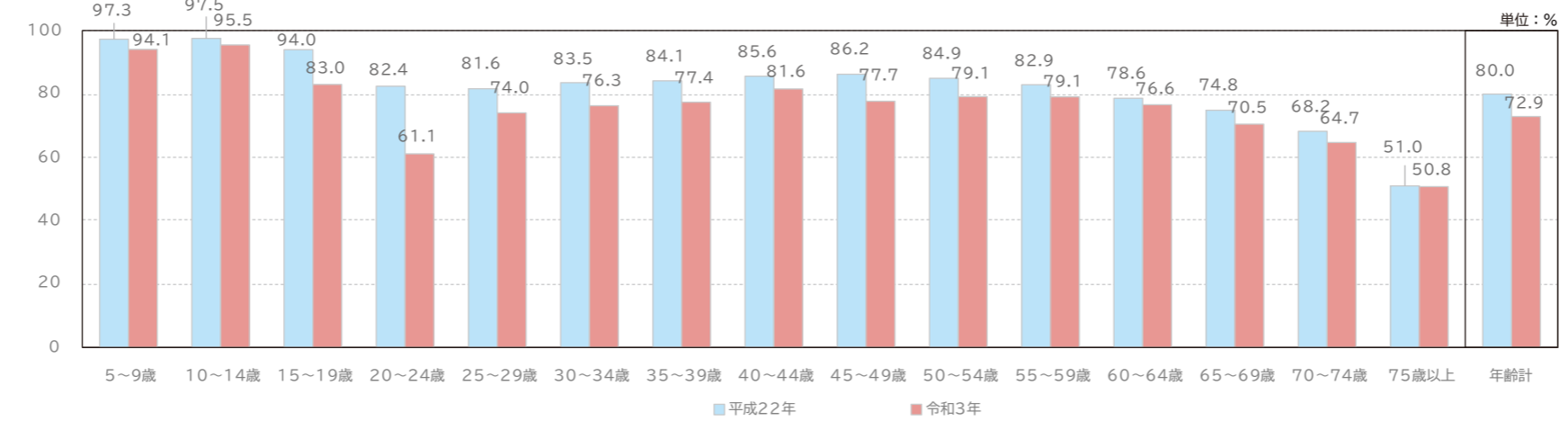
●年齢階層別の平日の生成原単位の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての年齢階層において減少しており、特に20~29歳の若年層の減少割合が大きくなっています。

◆生成原単位の推移(平日:年齢階層別)



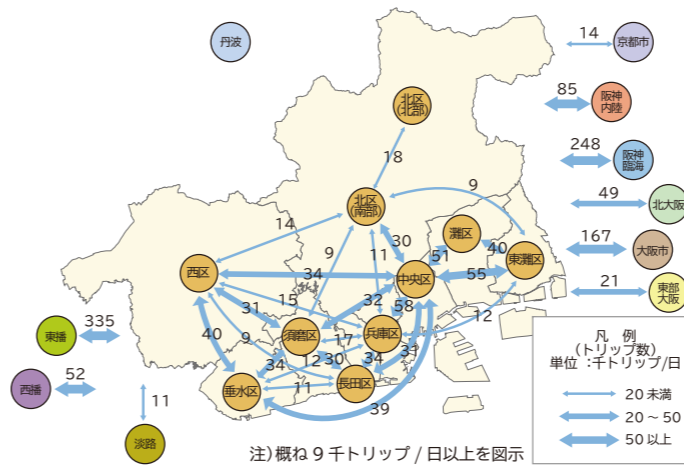
●年齢階層別の平日の外出率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての年齢階層で減少しています。

◆外出率の推移(平日:年齢階層別)



●特に20~24歳の減少が顕著にみられます。

◆区間流動量(平日:流動量 令和3年)

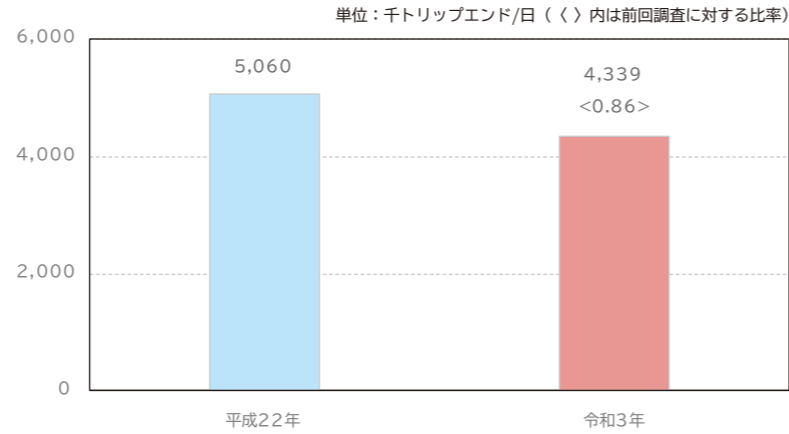


●平日の区間流動量を見ると、中央区を中心としたトリップが多いことが分かります。その他では、東灘区と灘区の間や、西区と須磨区、垂水区、須磨区と垂水区、長田区等の隣接地域間のトリップも多くなっています。また、神戸市と市外の流動量を見ると、東播や阪神臨海、大阪市との間のトリップが多くなっています。

神戸市全体の人の動き (2/3)

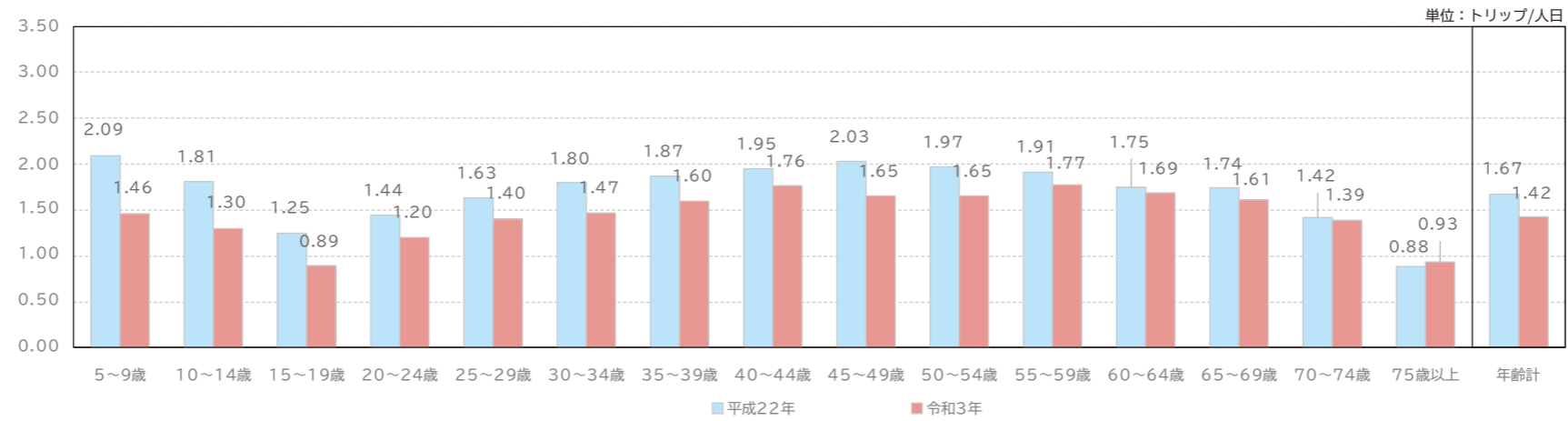
●神戸市の休日の発生集中量の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて14%の減少となっており、休日トリップの減少割合は平日よりも少し小さいことが分かります。

◆発生集中量の推移(休日)



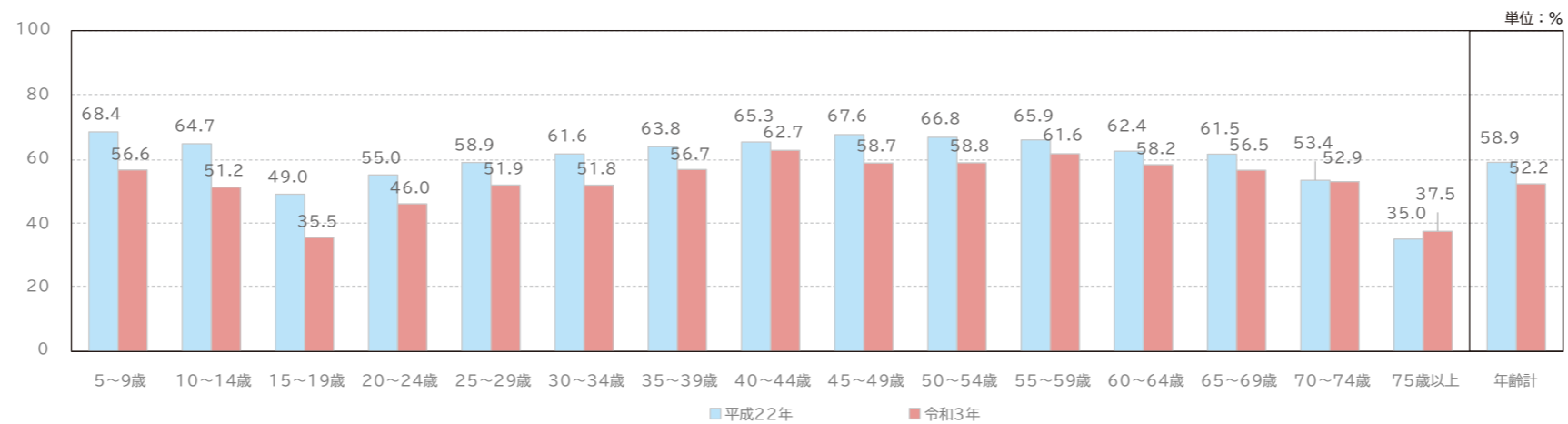
●年齢階層別の休日の生成原単位の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、75歳以上を除くすべての年齢階層において減少しており、特に19歳以下の減少割合が大きくなっています。

◆生成原単位の推移(休日：年齢階層別)



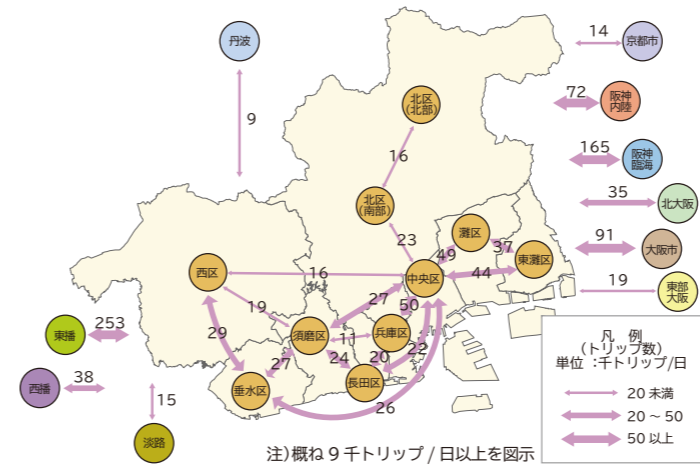
●年齢階層別の休日の外出率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、75歳以上を除くすべての年齢階層で減少しています。

◆外出率の推移(休日：年齢階層別)



●特に10代の減少割合幅が大きく、15~19歳では約13ポイントの減少幅になっており、20歳以降の他の年齢階層と比べて外出率の減少が目立っています。

◆区間流動量(休日：流動量 令和3年)



●休日の区間流動量を見ると、平日と同様に中央区を中心としたトリップと隣接地域間のトリップが多いことが分かります。ただし、トリップ数は平日と比較して少なくなっています。神戸市と市外の流動量も平日同様の傾向が見られます。

神戸市全体の人の動き (3/3)

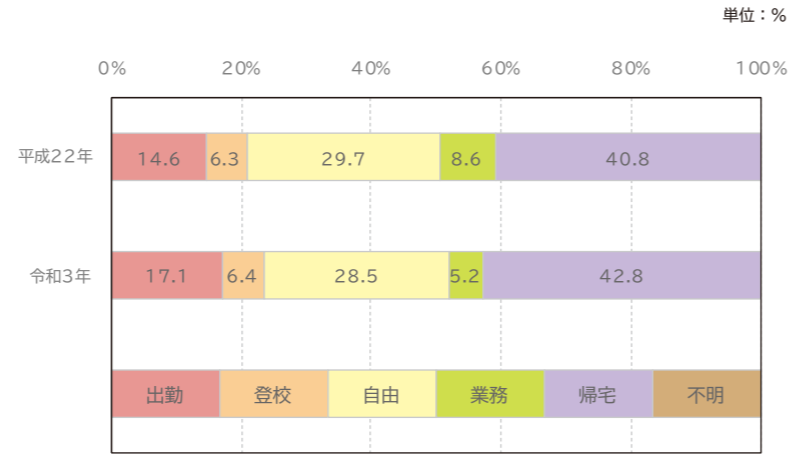
2 目的別及び代表交通手段別トリップ数

●平日の発生量におけるトリップの目的構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、出勤目的の割合が増加する一方で、業務目的や自由目的では減少しています。

●平日の集中量におけるトリップの目的構成比の推移を見ると、発生量と同様に平成22年から令和3年にかけて、出勤目的の割合が増加する一方で、業務目的や自由目的では減少しています。

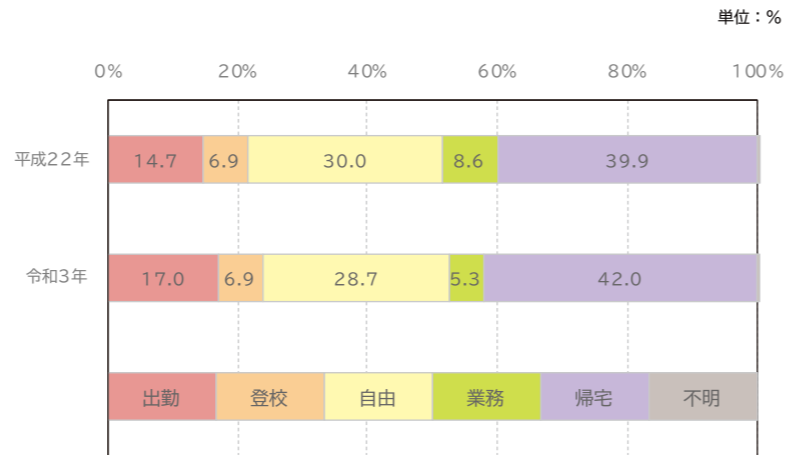
●平日の発生集中量におけるトリップの代表交通手段構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて大きな変化は見られませんが、鉄道の割合がわずかに増加し、自動二輪・原付、自転車の割合がわずかに減少しています。

◆ 目的構成比の推移 (平日・発生量)



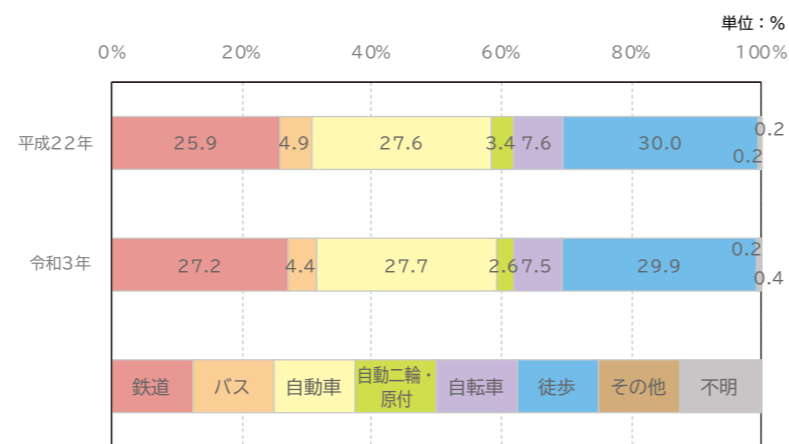
注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

◆ 目的構成比の推移 (平日・集中量)



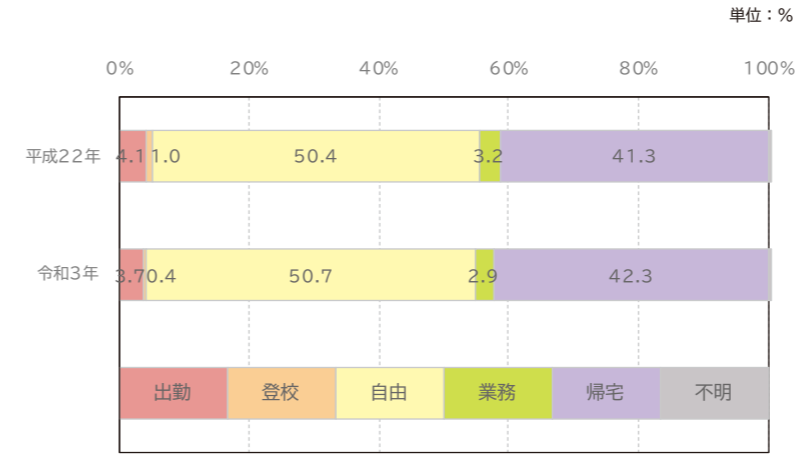
注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

◆ 代表交通手段構成比の推移 (平日・発生集中量)



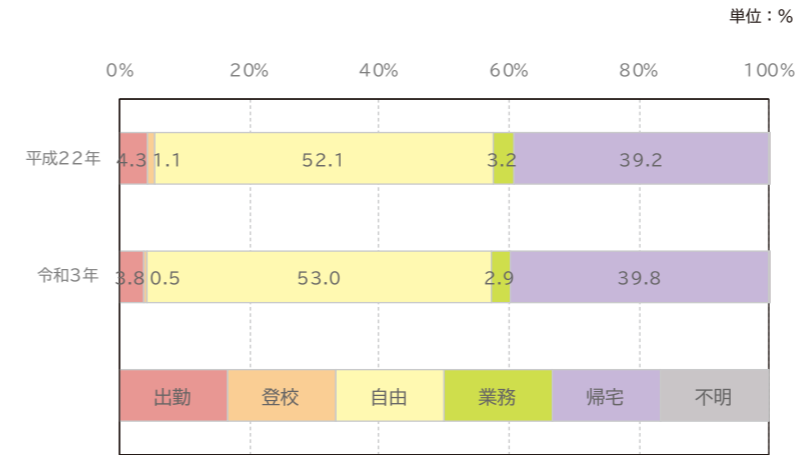
注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

◆ 目的構成比の推移 (休日・発生量)



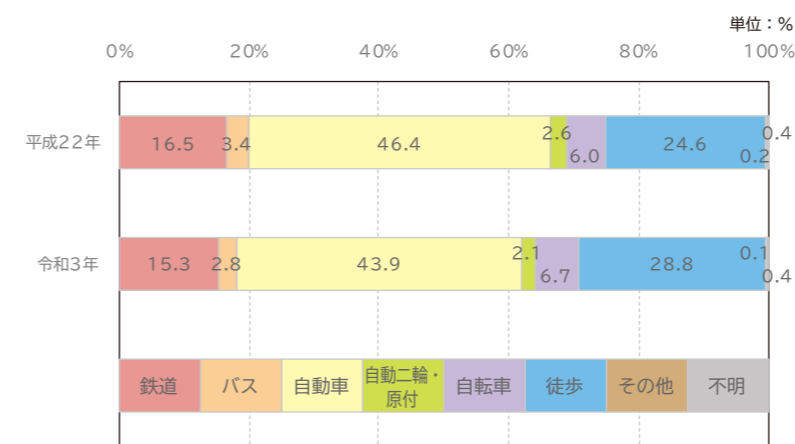
注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

◆ 目的構成比の推移 (休日・集中量)



注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

◆ 代表交通手段構成比の推移 (休日・発生集中量)



注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

●休日の発生量におけるトリップの目的構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、いずれの目的においても大きな変化は見られません。

●休日の集中量におけるトリップの目的構成比の推移を見ると、発生量と同様に平成22年から令和3年にかけて大きな変化は見られません。

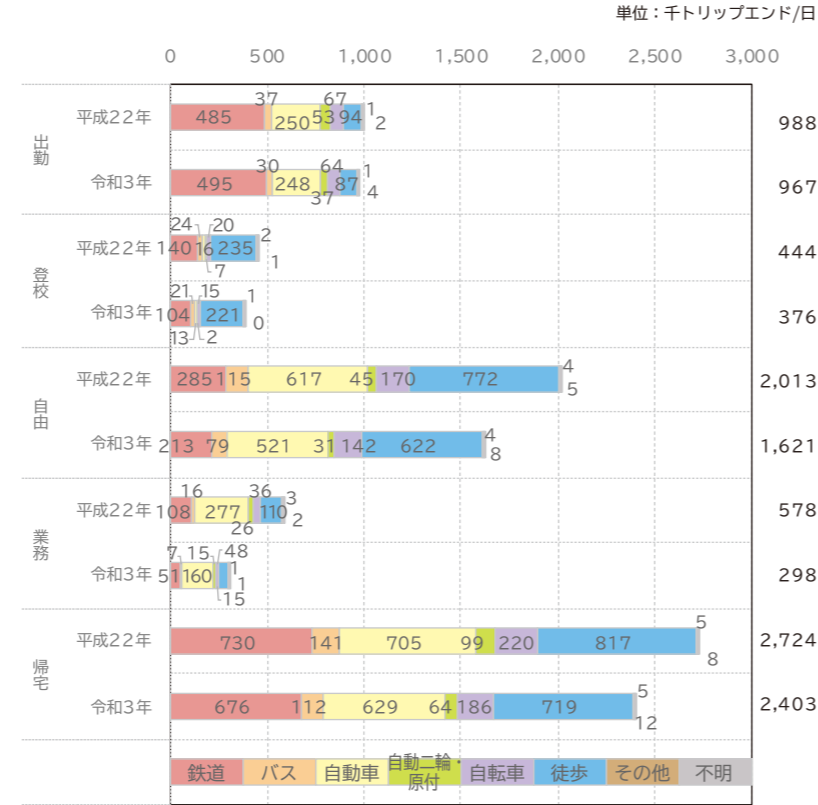
●休日の発生集中量におけるトリップの代表交通手段構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、徒歩と自転車の割合が増加し、鉄道、バス、自動車、自動二輪・原付の割合が減少しています。その中では、徒歩の増加と自動車の減少がやや大きくなっています。

交通手段別の人の動き (1/5)

1 目的別に見た利用交通手段

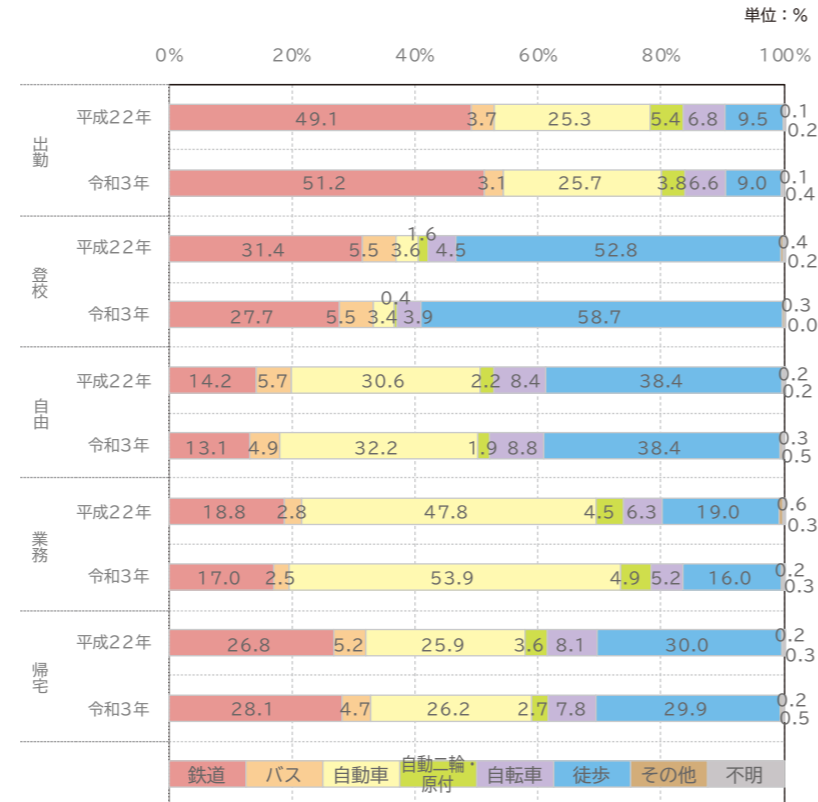
- 目的別の代表交通手段別トリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、出勤目的では大きな変化は見られません。一方、自由目的では自動車が約100千トリップエンド/日減少、鉄道が約70千トリップエンド/日、徒歩が約150トリップエンド/日の減少となっています。
- 業務目的は最も減少幅が大きく、自動車は約120千トリップエンド/日の減少となっています。

◆ 目的別の代表交通手段トリップ数の推移



注) 四捨五入のため、内訳の合計と総量が一致しない場合があります

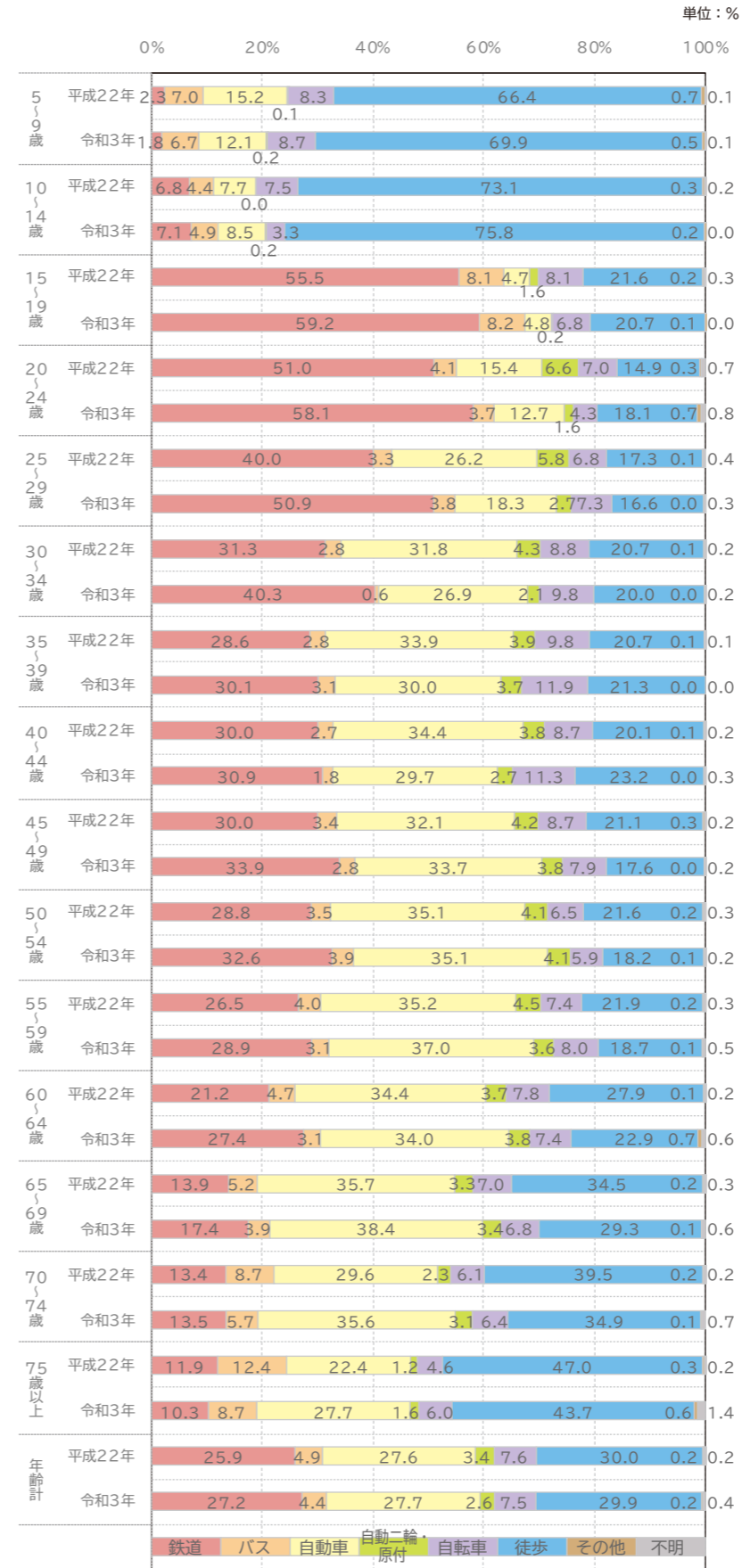
◆ 目的別の代表交通手段構成比の推移



注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

- 目的別の代表交通手段構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、出勤目的では鉄道の割合が2.1ポイント増加し、登校目的では3.7ポイント減少しています。一方、自由目的では自動車の割合が1.6ポイント増加し、鉄道の割合は1.1ポイント減少しています。
- 業務目的においては、自動車の割合が6.1ポイントの増加となっており、全体の中で最大の増加幅となっています。

◆ 年齢階層別の代表交通手段構成比の推移



注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

2 年齢別に見た利用交通手段

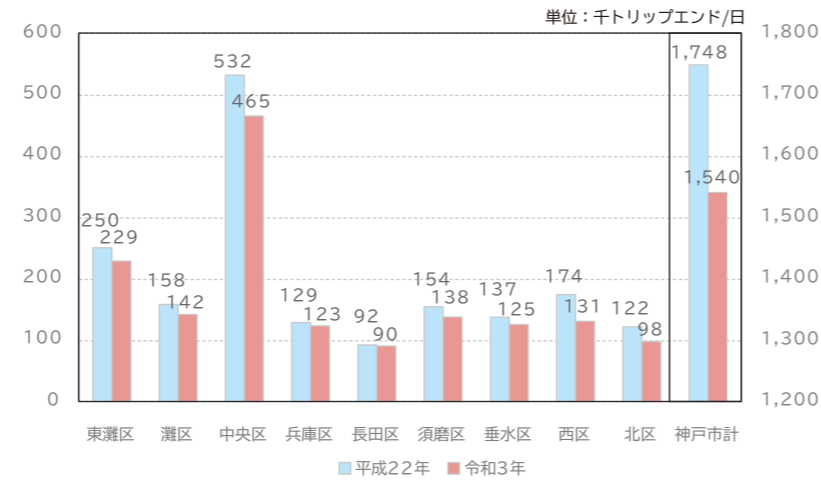
- 年齢階層別の代表交通手段構成比の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、自動車の割合は20~44歳では減少している一方で、70歳以上では5ポイント以上増加しています。
- 減少幅が大きいのは、25~29歳と30~34歳であり、約5~8ポイントの減少となっています。
- この傾向は前回調査時と同様であり、若者層のクルマ離れと高齢者のクルマ利用の増加の傾向が続いていると考えられます。

交通手段別の人の動き (2/5)

3 鉄道利用の推移

- 区別の鉄道トリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で減少しており、神戸市全体では約200千トリップエンド/日(12%)減少しています。
- 特に、西区と北区の減少幅が大きく、20~25%の減少幅となっています。

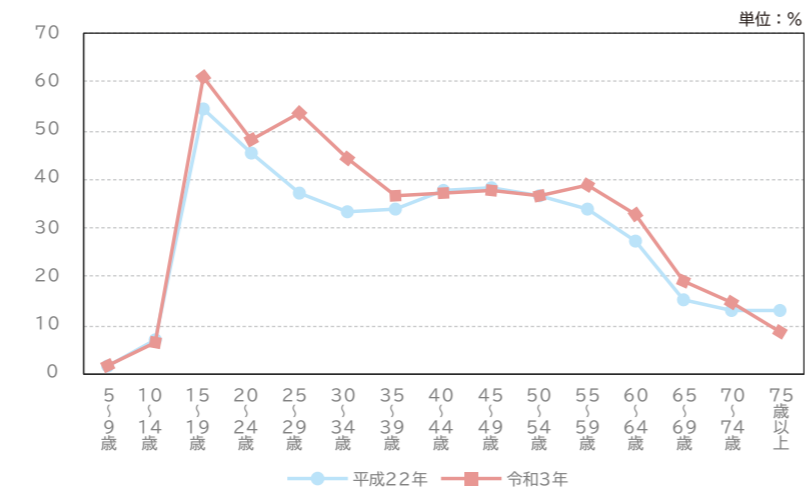
◆ 区別の鉄道発生集中量の推移



注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

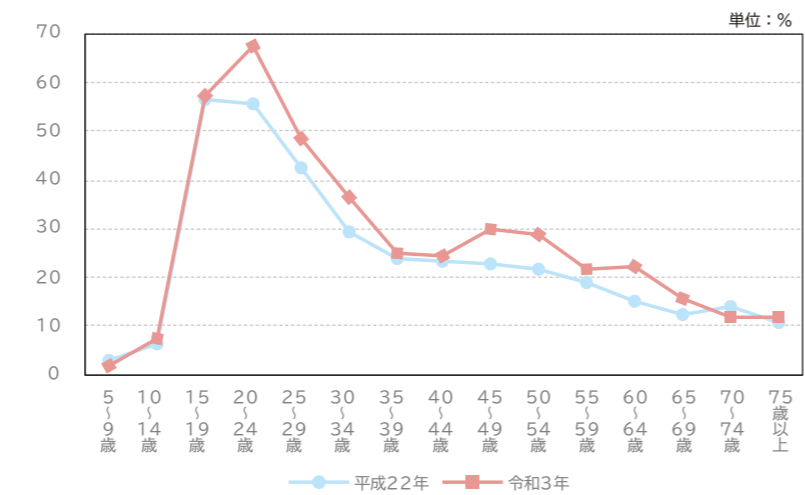
- 男性の年齢階層別の鉄道分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、40~54歳や75歳以上などでわずかに減少している以外、多くの年齢階層で増加しています。特に、25~29歳では16ポイント以上、30~34歳では10ポイント以上増加しています。

◆ 年齢階層別の鉄道分担率の推移 (男性)

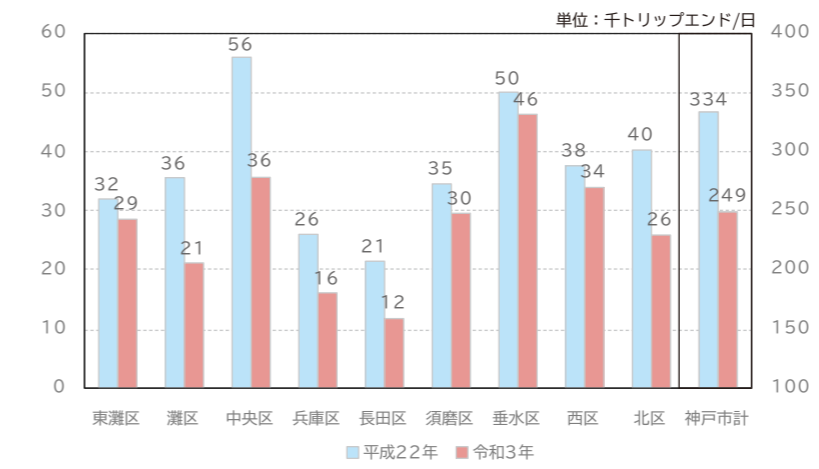


- 女性の年齢階層別の鉄道分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、5~9歳と70~74歳でわずかに減少している以外、多くの年齢階層で増加しています。特に、20~24歳では約12ポイントの増加、45~54歳では約7ポイントの増加となっています。

◆ 年齢階層別の鉄道分担率の推移 (女性)

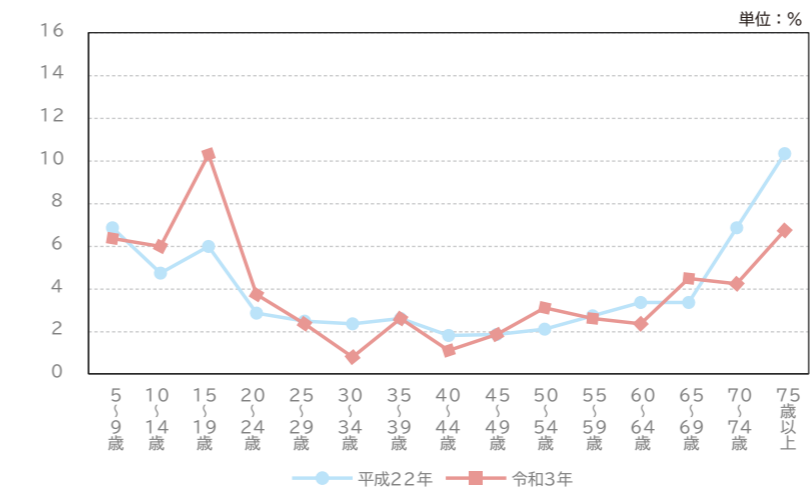


◆ 区別のバス発生集中量の推移



注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

◆ 年齢階層別のバス分担率の推移 (男性)

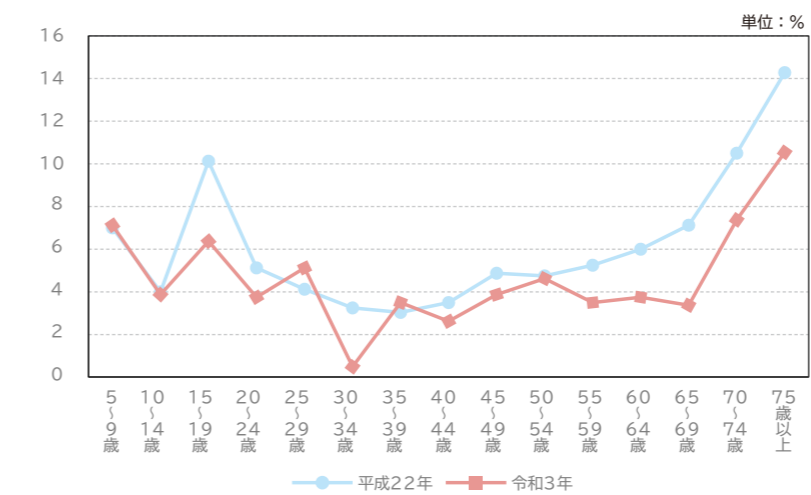


4 バス利用の推移

- 区別のバストリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で減少しており、神戸市全体では約85千トリップエンド/日(約25%)減少しています。
- 特に、長田区、灘区、兵庫区、中央区、北区の減少幅が大きくなっています。

- 男性の年齢階層別のバス分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、24歳以下の若年層での増加と、70歳以上の高齢層での減少が見られ、15~19歳では唯一、バス分担率が10%を上回っています。

◆ 年齢階層別のバス分担率の推移 (女性)



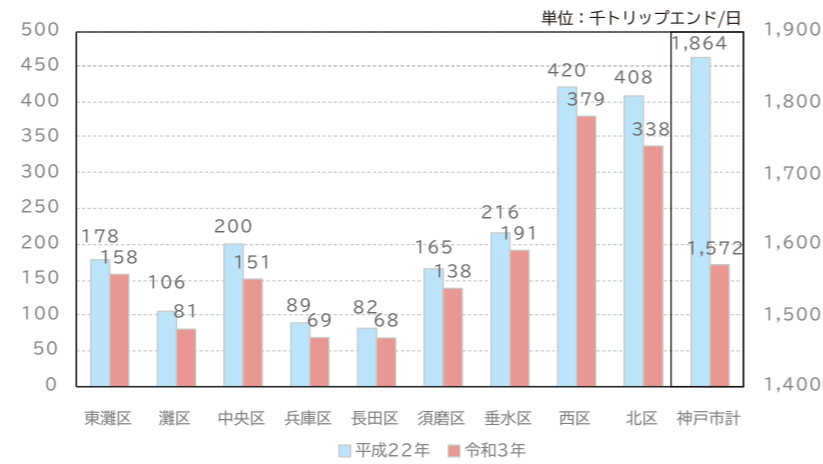
- 女性の年齢階層別のバス分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、25~29歳以外のほとんどの年代で減少しています。特に、15~19歳、および55歳以上の高齢層で大きく減少しています。

交通手段別の人の動き (3/5)

5 自動車利用の推移

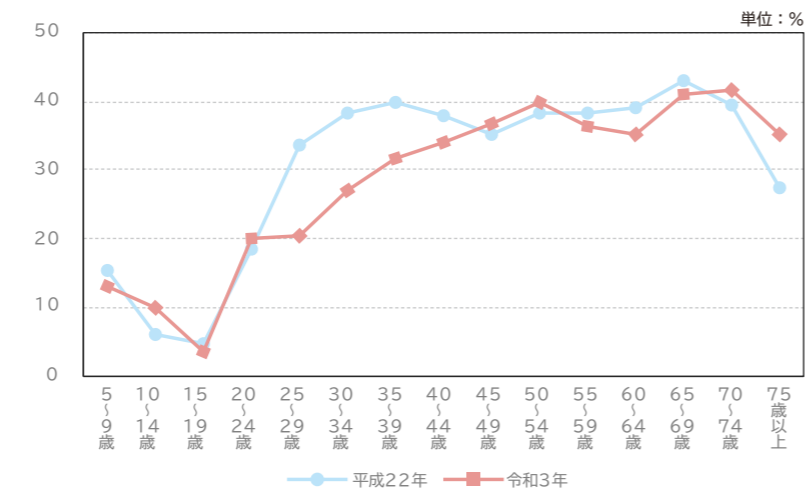
- 区別の自動車トリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で減少しており、神戸市全体では約290千トリップエンド/日(約16%)減少しています。
- 特に、灘区、中央区の減少幅が大きく、約25%の減少幅となっています。
- 最も利用量の多いのは西区であり、減少幅は小さくなっています。

◆ 区別の自動車発生集中量の推移

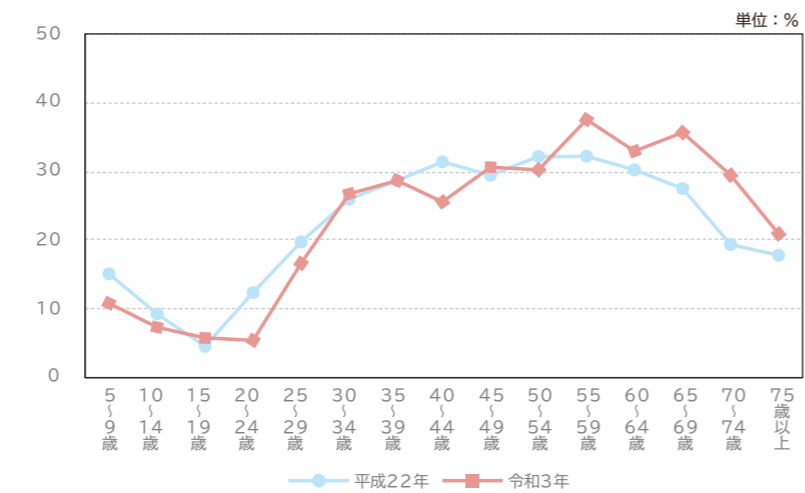


注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

◆ 年齢階層別の自動車分担率の推移 (男性)



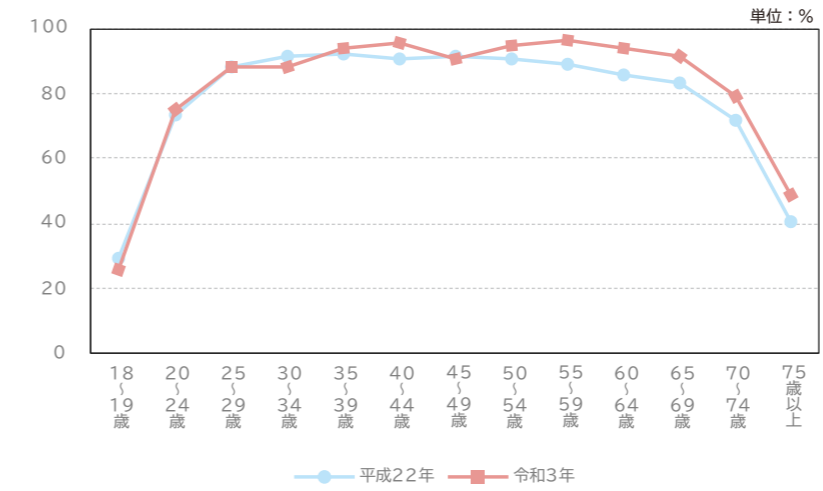
◆ 年齢階層別の自動車分担率の推移 (女性)



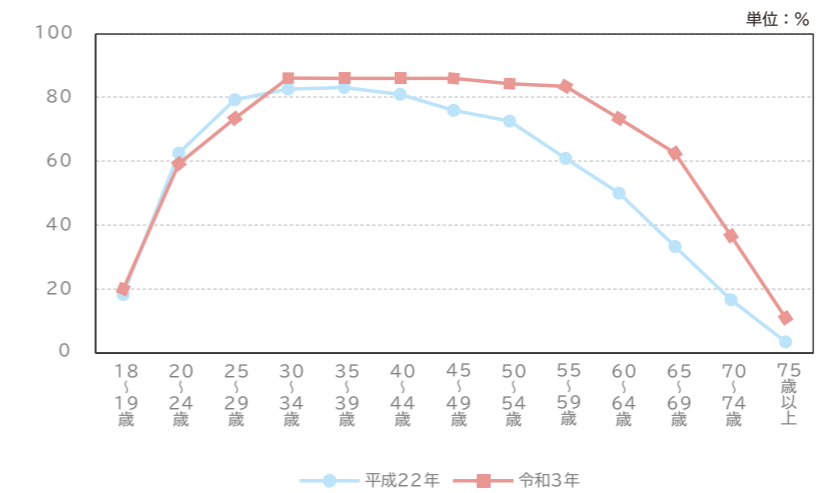
- 男性の年齢階層別の自動車分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、25~39歳での減少が目立ち、25~34歳では10ポイント以上減少しています。一方で、70歳以上の高齢層では増加しています。

- 女性の年齢階層別の自動車分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、20~29歳代と40~44歳では減少が目立ちますが、55歳以上では大きく増加しています。特に、70~74歳では約10ポイント増加しています。

◆ 年齢階層別の免許保有率の推移 (男性)



◆ 年齢階層別の免許保有率の推移 (女性)



- 男性の年齢階層別の免許保有率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、50歳以上での増加が見られ、35~69歳では保有率が90%を上回っています。

- 女性の年齢階層別の免許保有率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、30歳以上では増加しています。30~59歳までは保有率が80%を上回っています。特に、65~69歳では約30ポイント増加しています。

交通手段別の人の動き (4/5)

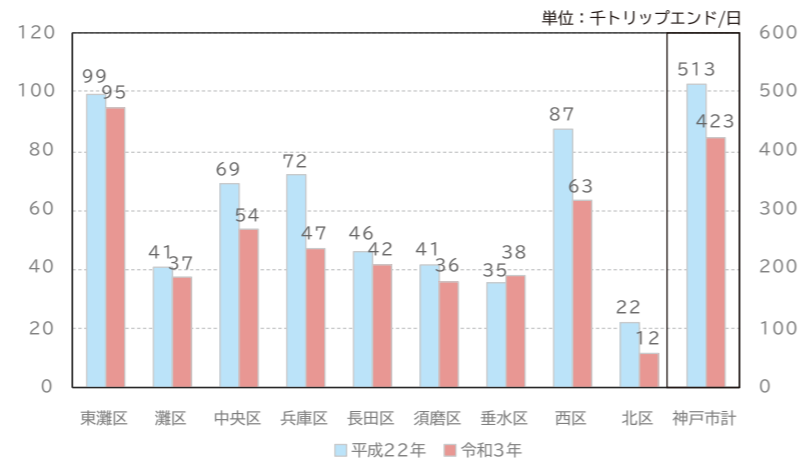
6 自転車利用の推移

- 区別の自転車トリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、垂水区以外のすべての区で減少しており、神戸市全体では90千トリップエンド/日減少しています。
- 特に、元々利用量の少ない北区の減少幅が大きく、西区や兵庫区、中央区でも減少がみられます。

- 男性の年齢階層別の自転車分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、25～44歳以外は多くの年齢階層で減少しています。特に大きく減少しているのが10～14歳で、約6ポイントの減少となっています。また、40～59歳より、60歳以上の方が、自転車分担率が高くなっています。

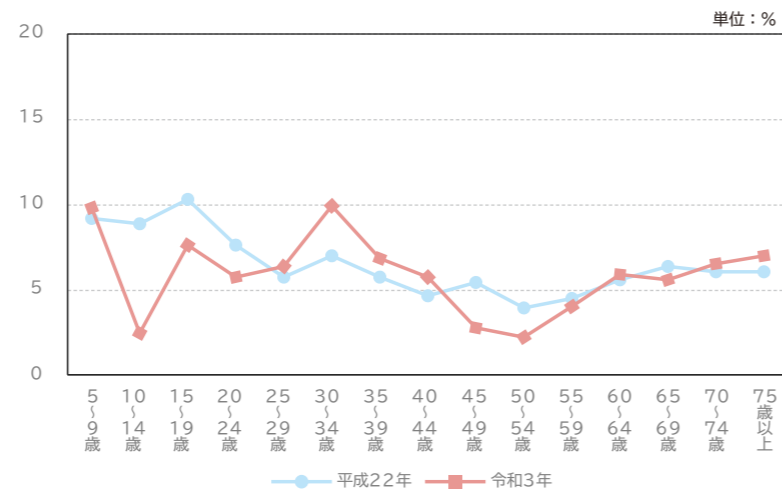
- 女性の年齢階層別の自転車分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、35～59歳で増加しており、特に35～44歳では約3～4ポイントの増加となっています。
- 一方で、20～24歳は約4ポイント減少しています。また、女性は男性と違って、40歳以上では年齢が高くなるにつれて、自転車分担率が低下する傾向が見られます。

◆ 区別の自転車発生集中量の推移

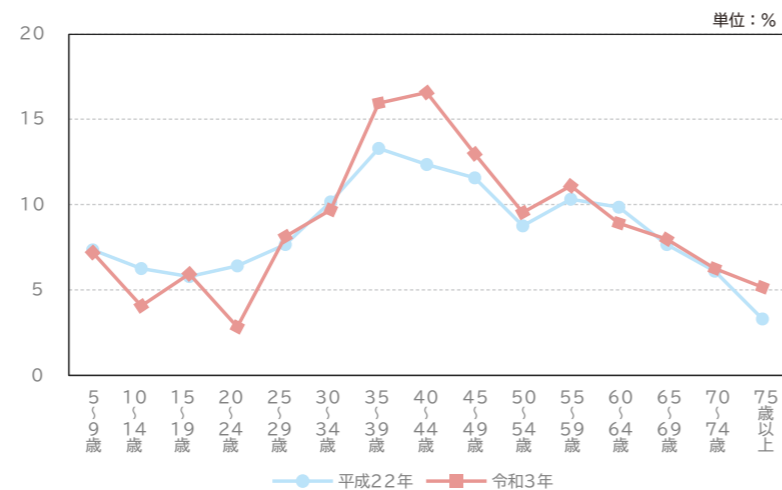


注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

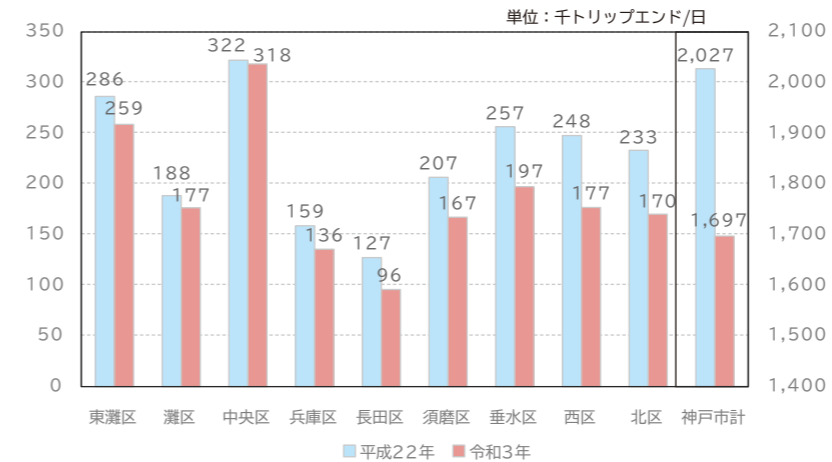
◆ 年齢階層別の自転車分担率の推移 (男性)



◆ 年齢階層別の自転車分担率の推移 (女性)

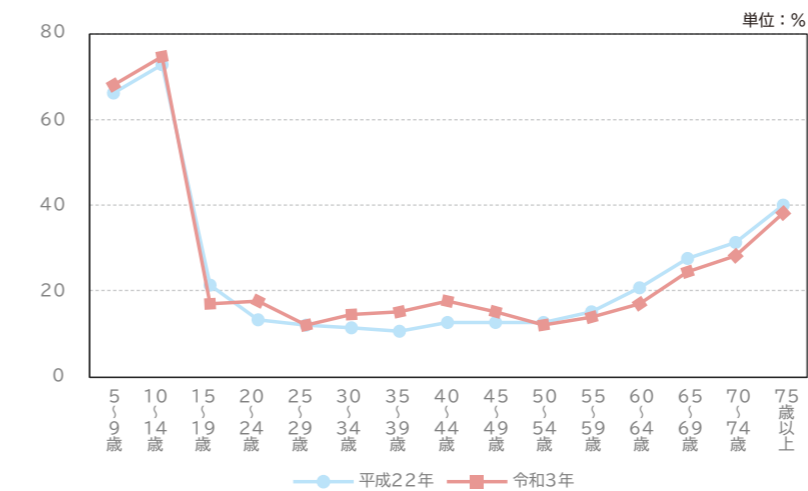


◆ 区別の徒歩発生集中量の推移

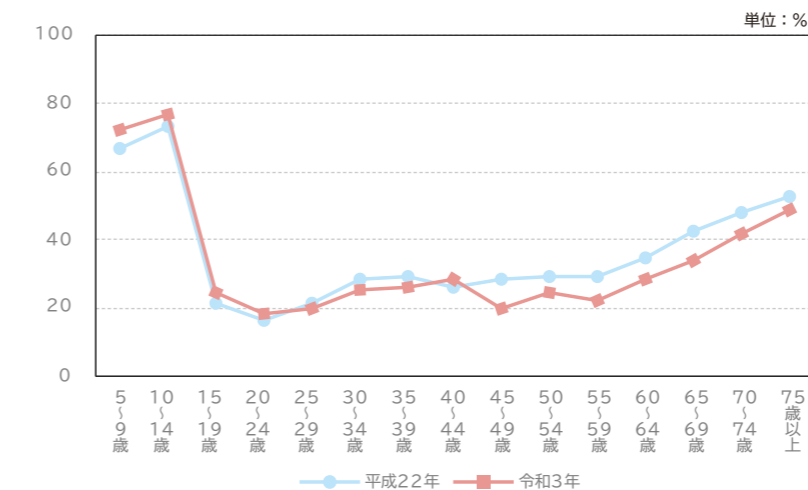


注) 四捨五入のため、区別の合計が神戸市計の数値と一致しない場合があります

◆ 年齢階層別の徒歩分担率の推移 (男性)



◆ 年齢階層別の徒歩分担率の推移 (女性)



7 徒歩利用の推移

- 区別の徒歩トリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で減少しており、神戸市全体では330千トリップエンド/日(約16%)減少しています。
- 特に、西区、北区の減少幅が大きく、一方で、中心市街地の中央区では、わずかな減少にとどまっています。

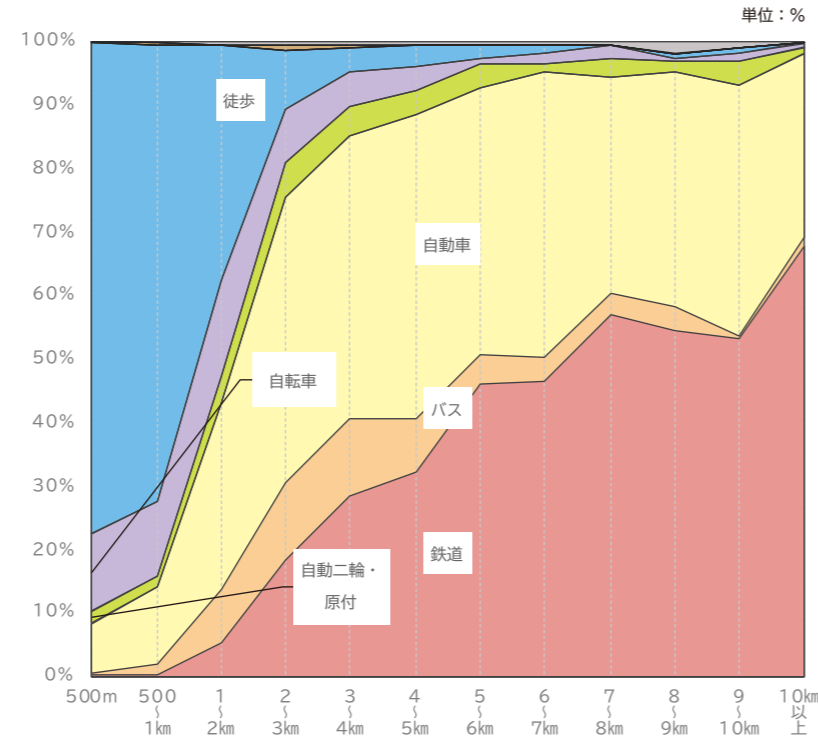
- 男性の年齢階層別の徒歩分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、20～49歳でわずかに分担率が増加し、50歳以上ではわずかに減少する傾向が見られます。

- 女性の年齢階層別の徒歩分担率の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、25歳以上の年齢階層ではほぼ分担率が減少し、45歳以上では約5ポイント以上の減少が見られます。

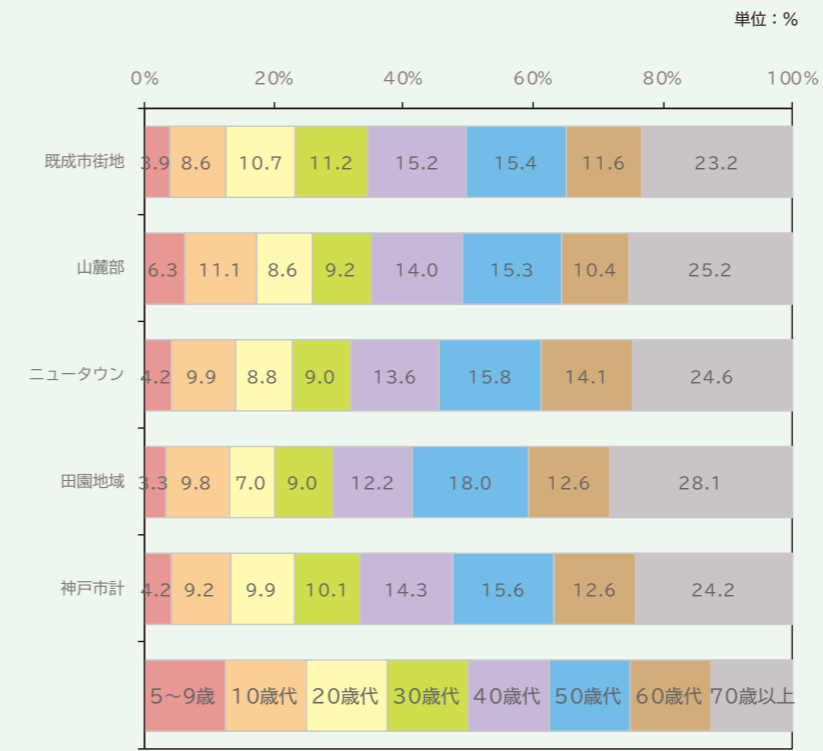
交通手段別の人の動き (5/5)

- 移動距離帯別の代表交通手段構成を見ると、1kmまでは徒歩が全体の70%を占めていることが分かります。
- 1~2kmになると徒歩は約40%に減少し、自動車が約30%になります。
- 2~3kmでは徒歩が10%、自動車が40%以上と逆転し、バスが10%以上で徒歩を上回ります。
- 3~5kmの距離帯においては、自動車に次いで、鉄道が30%近くを占めるようになり、5km以上では鉄道が50%近くになって最大の構成比を占めるようになります。

◆ 移動距離帯別の代表交通手段構成 (神戸市計)



◆ 地域別居住者の年齢構成

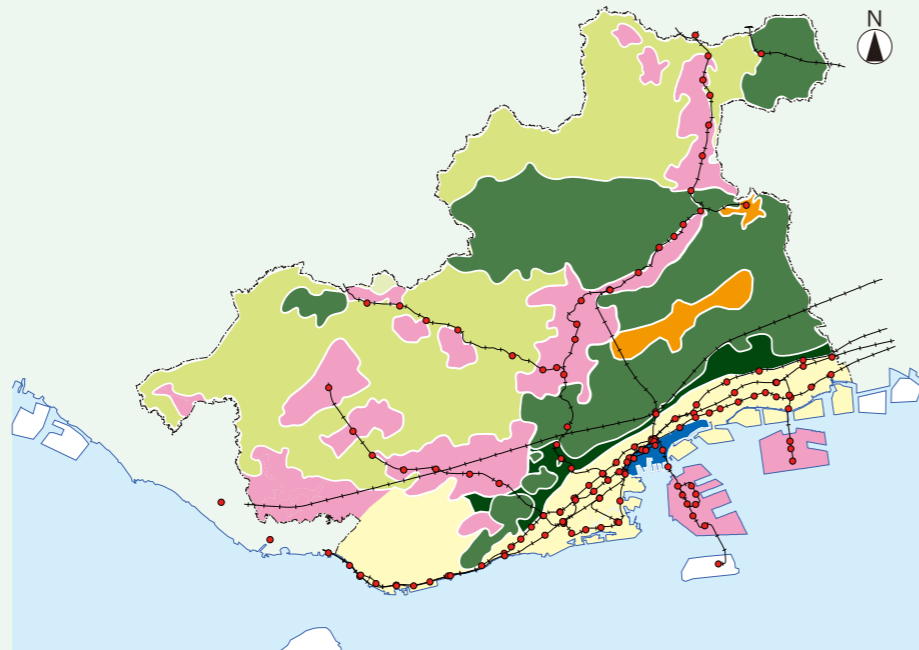
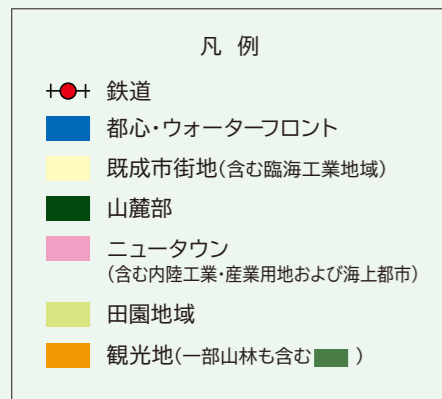


- 既成市街地、山麓部、ニュータウン、田園地域の4地域における居住者の年齢構成を比較すると、田園地域において60歳以上の割合が他地域と比べて最も高くなっています。また、20歳代、30歳代の割合に着目すると、既成市街地が最も高く、田園地域が最も低くなっています。
- また田園地域では、50歳代の割合が、他の地域と比べて最も高くなっています。

◆ 地域別の年齢構成と代表交通手段構成

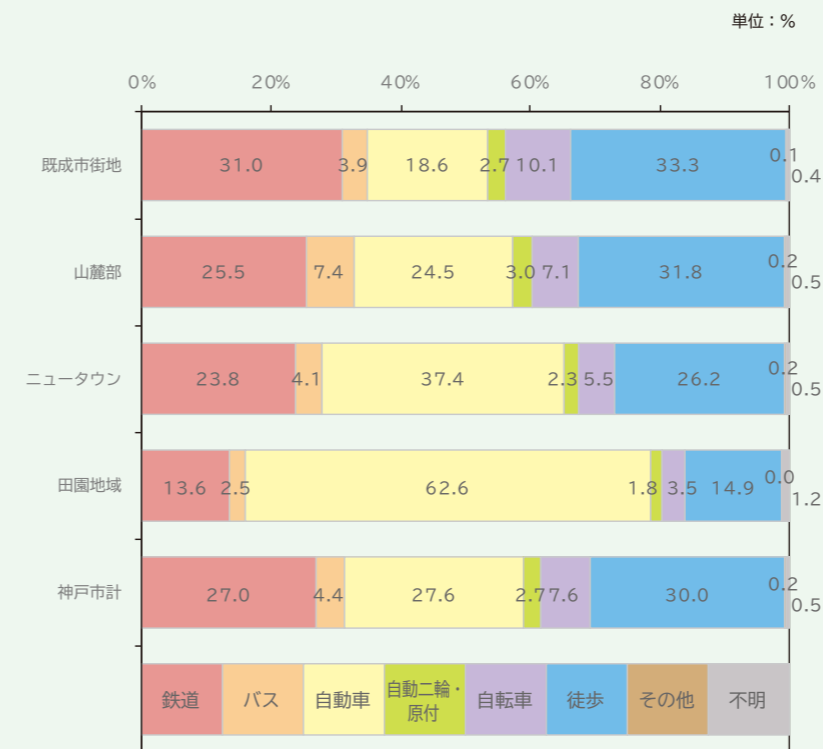
神戸市における地域別の傾向を把握するために、「都心・ウォーターフロント」「既成市街地(含む臨海工業地域)」「山麓部」「ニュータウン(含む内陸工業・産業用地及び海上都市)」「田園地域」「観光地(一部山林も含む)」に区分し、そのうち「既成市街地」「山麓部」「ニュータウン」「田園地域」の4地域について、年齢構成及び代表交通手段構成を整理しています。

◆ 地域の区分図



出典：神戸市総合交通計画

◆ 地域別の代表交通手段構成



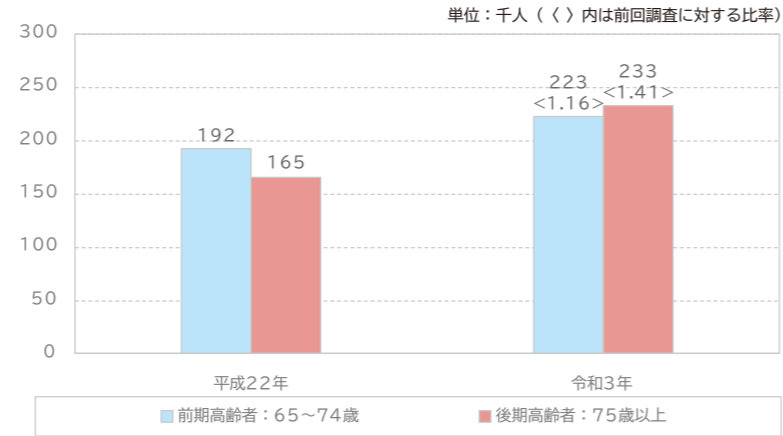
- 4地域の代表交通手段構成を見ると、田園地域では自動車の割合が約60%を占めており、他の地域と比べて著しく高くなっています。
- またニュータウンでも自動車の割合が40%近くを占めています。
- 既成市街地では、自動車よりも鉄道の割合の方が高く、30%を上回っています。
- 山麓部については、鉄道と自動車の割合がほぼ同程度になっていますが、他の地域と比べてバスの割合が高く、神戸市平均を3ポイント上回っています。

注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

高齢者の動き (1/2)

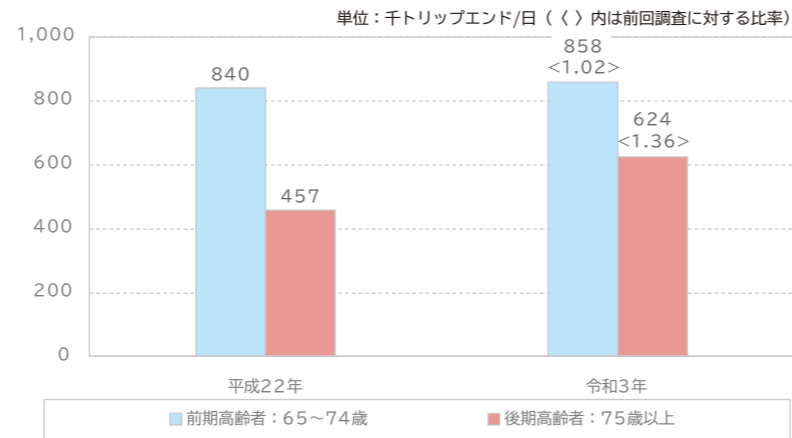
●高齢者（65歳以上）の人口の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、前期高齢者（65～74歳）は16%、後期高齢者（75歳以上）は41%の増加となっています。

◆ 夜間人口の推移（高齢者）



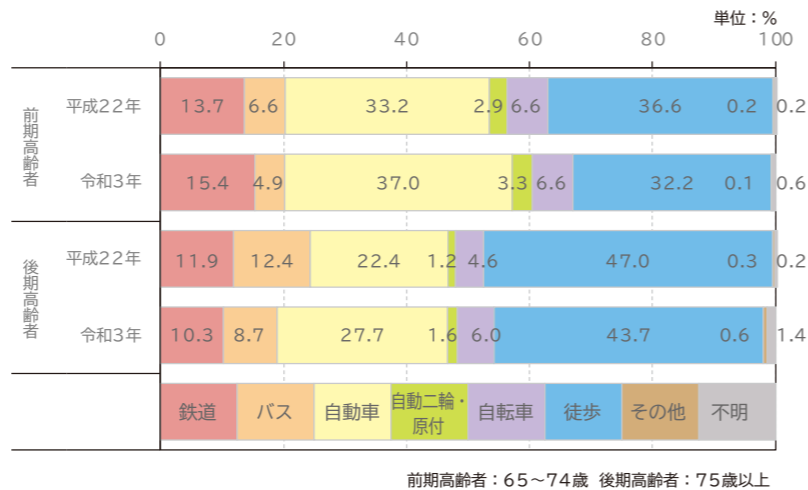
●高齢者のトリップ数の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、前期高齢者は2%、後期高齢者は36%の増加となっており、人口の増加幅を下回っています。

◆ 発生集中量の推移（高齢者）



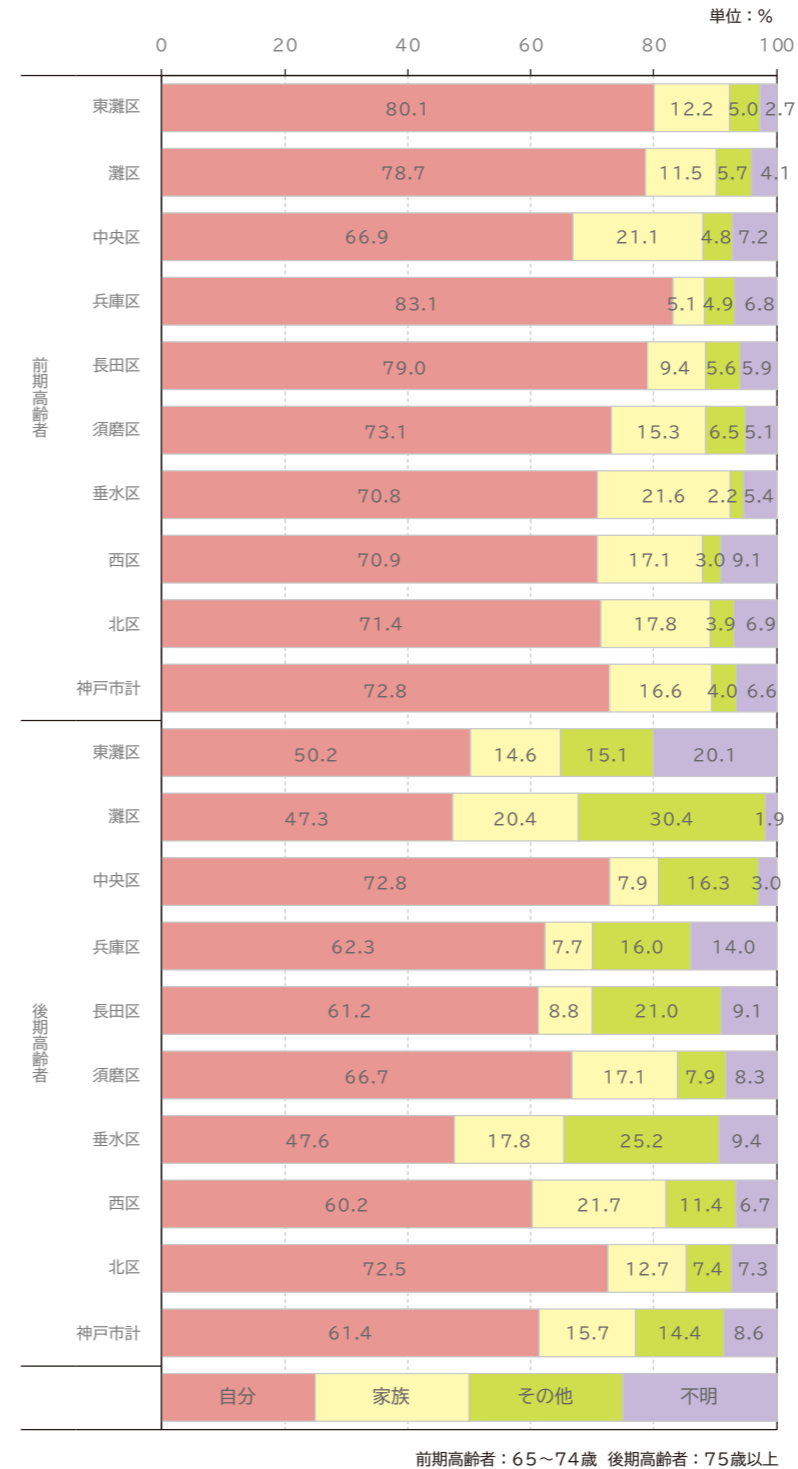
●高齢者の代表交通手段構成の推移を見ると、平成22年から令和3年にかけて、前期高齢者では自動車の割合が3.8ポイント増加し、徒歩の割合が4.4ポイント減少した結果、自動車と徒歩の分担率が逆転しています。

◆ 代表交通手段構成の推移（高齢者）



●後期高齢者も同様の傾向で、自動車の割合が5.3ポイント増加し、徒歩の割合が3.3ポイント減少していますが、依然として徒歩が最大の分担率になっています。

◆ 区別の自動車トリップの運転者属性構成比（高齢者）



●高齢者の自動車トリップにおける運転者属性構成比を区別に見ると、前期高齢者に比べて、後期高齢者では「自分で運転する」割合が低く、「家族に送迎してもらう」や「その他」の割合が高い区が多いことが分かります。

●その中で、中央区は後期高齢者の「自分で運転する」割合が前期高齢者を5ポイント以上上回っているのが特徴的です。

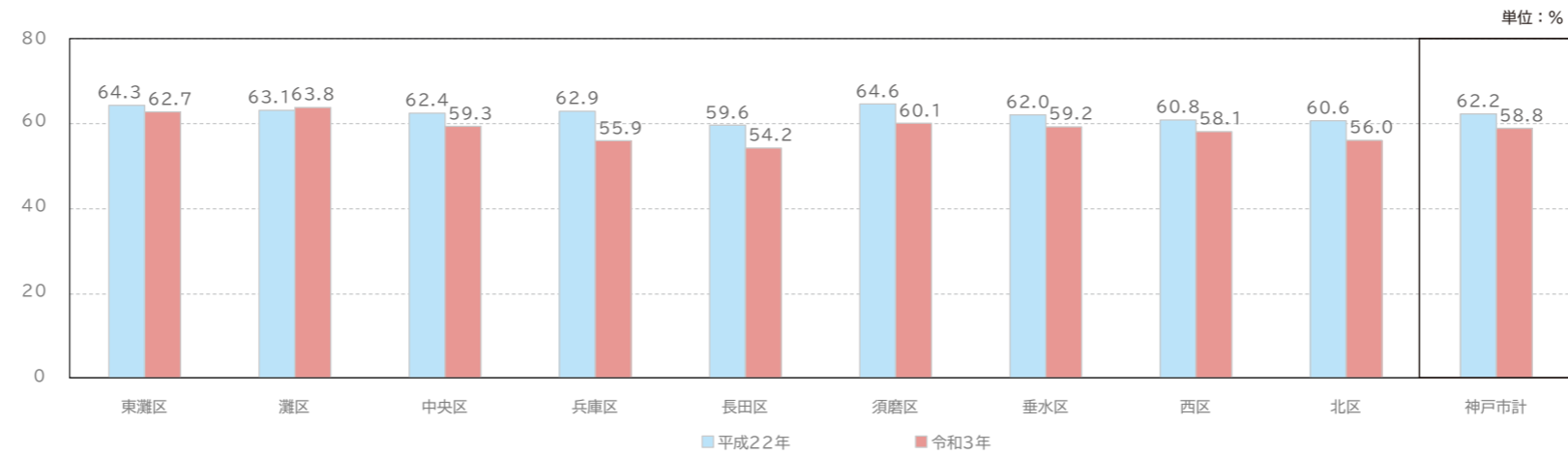
●中央区、北区、須磨区、兵庫区では、「自分で運転する」後期高齢者が、神戸市平均以上の割合となっています。

注) 四捨五入のため、内訳の合計が100%とならない場合があります

高齢者の動き (2/2)

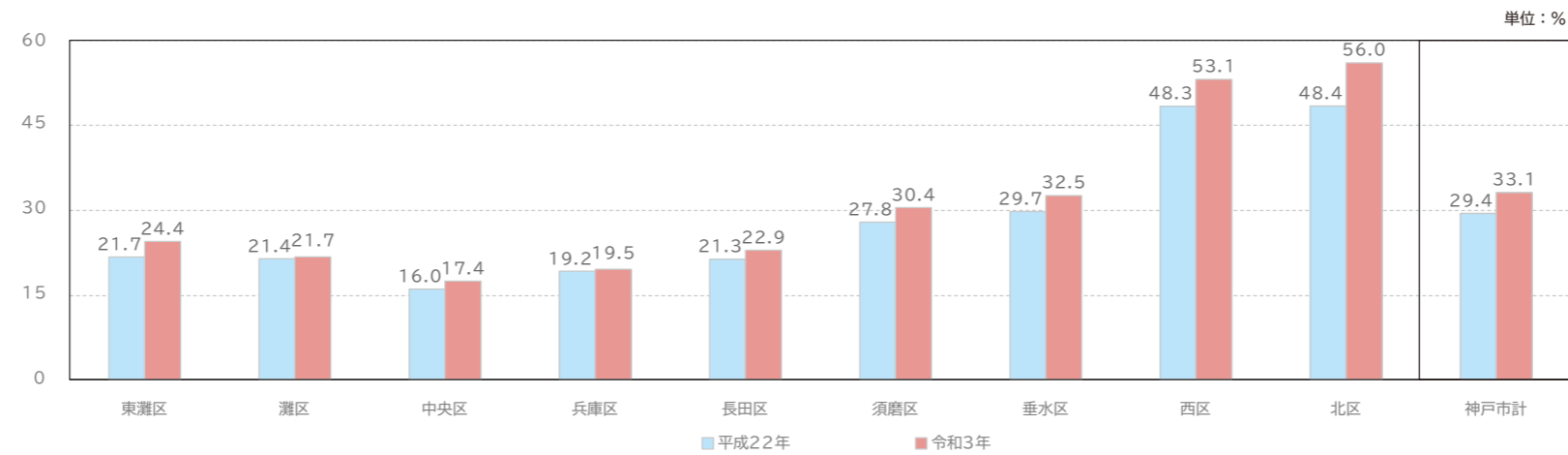
- 高齢者の外出率の推移を区別に見ると、平成22年から令和3年にかけて、灘区以外はすべての区で減少しています。
- 神戸市全体では約3ポイント減少している中で、特に減少が大きいのは兵庫区で、7ポイント減少しています。

◆ 区別の外出率の推移 (高齢者)



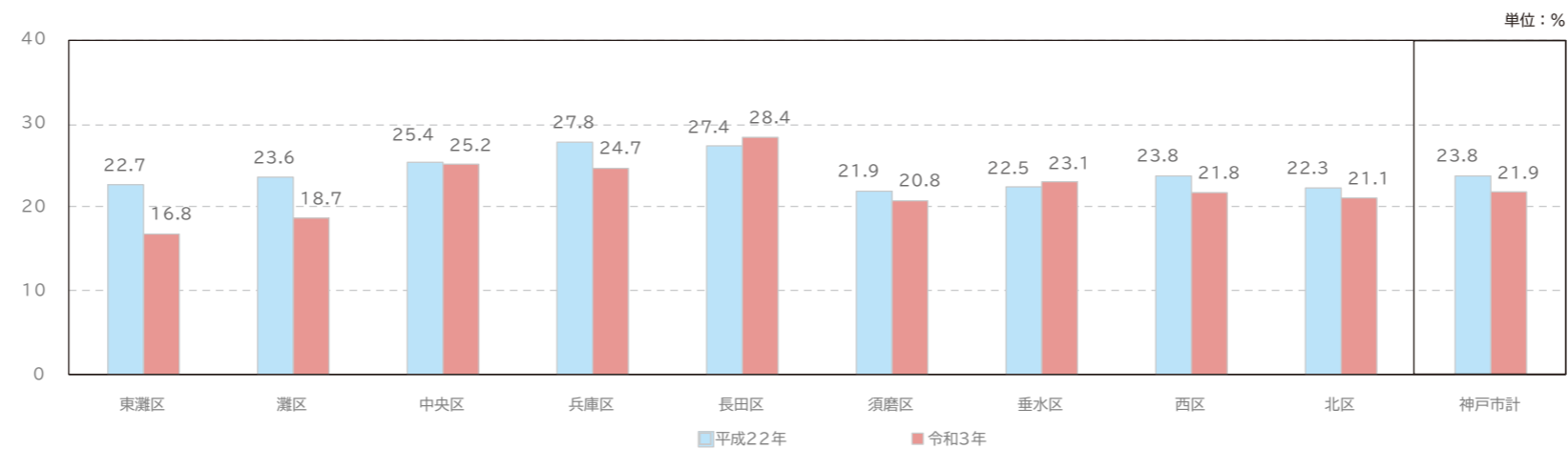
- 高齢者の自動車分担率の推移を区別に見ると、平成22年から令和3年にかけて、すべての区で増加しています。
- 神戸市全体では約4ポイント増加している中で、特に増加が大きいのは北区で、約8ポイント増加しています。

◆ 区別の自動車分担率の推移 (高齢者)



- 高齢者のうち、外出に関する困難ありと回答した人の割合を区別に見ると、平成22年から令和3年にかけて、長田区と垂水区では約1ポイント増加し、それ以外の区では減少しています。
- 神戸市全体では約2ポイント減少している中で、特に減少が大きいのは東灘区と灘区で、東灘区では約6ポイント、灘区では約5ポイント減少しています。

◆ 区別の外出に関する困難のある人の割合の推移 (高齢者)



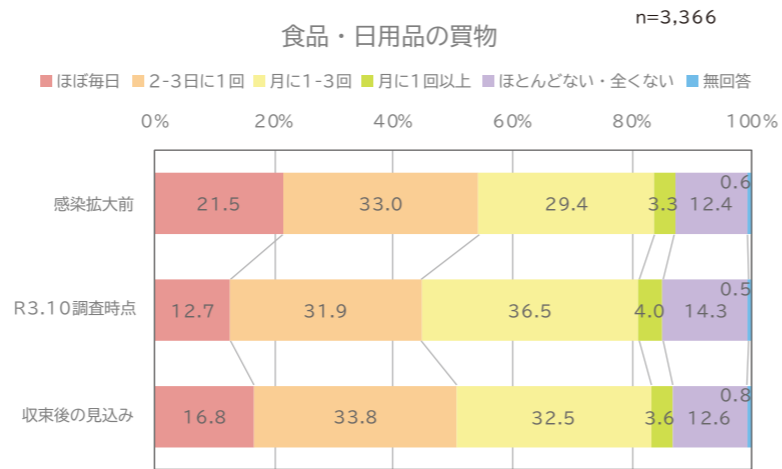
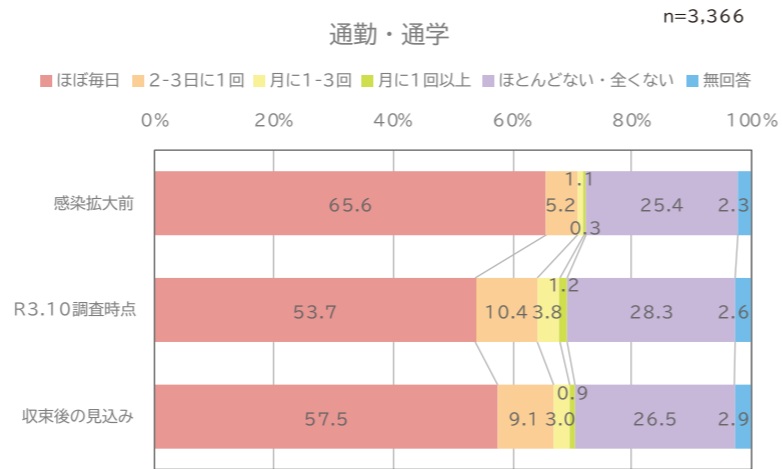
新型コロナウイルス感染拡大による影響

第6回近畿圏パーソントリップ調査では、新型コロナウイルス感染症に関する補完調査として外出状況の変化（活動頻度や移動手段の行動の変化）について、神戸市全体で3,366人の方に感染拡大前と調査時点で活動の種類ごとにどのくらいの頻度で行っているか、また収束後にはどのくらいの頻度で行うと思うかを調査し、回答をいただきました。なお、収束後の見込みに関しては、回答者の想定によるものです。

① 日常的な活動の頻度

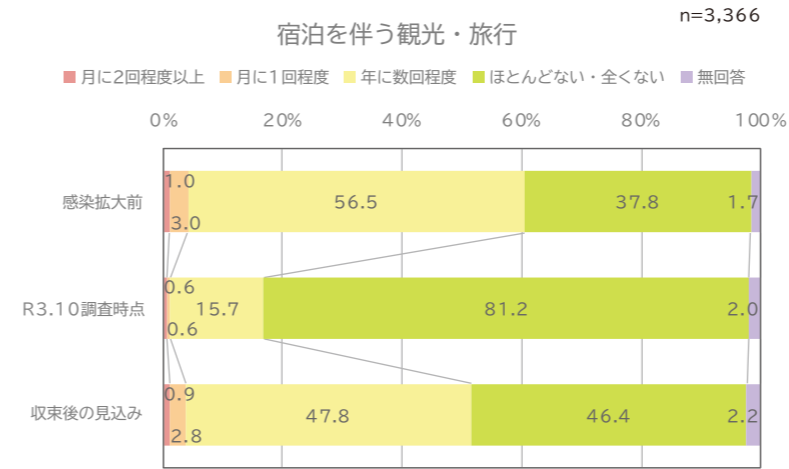
●ほぼ毎日実施されていた活動（通勤・通学、食品・日用品の買い物）においては、調査時点では感染拡大前より活動頻度が低下しており、収束後には頻度が上昇するものの、感染拡大前の頻度には及ばない見込みとなっています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出頻度の変化（日常的な活動）



注) 感染拡大前: 令和2年1月「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、同年3月「世界的大流行(パンデミック)」の宣言以前の通常期
 R3.10調査時点: 緊急事態宣言がなされておらず、陽性者数が一定程度減少した時期
 収束後の見込み: 自分の意思で自分の活動等を選択することができる状況
 (新型コロナウイルスの影響に関する補完調査)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出頻度の変化（非日常的な活動）



注) 感染拡大前: 令和2年1月「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、同年3月「世界的大流行(パンデミック)」の宣言以前の通常期
 R3.10調査時点: 緊急事態宣言がなされておらず、陽性者数が一定程度減少した時期
 収束後の見込み: 自分の意思で自分の活動等を選択することができる状況
 (新型コロナウイルスの影響に関する補完調査)

② 非日常的な活動の頻度

●宿泊を伴う観光・旅行活動においては、感染拡大前は「年に数回程度」が5割以上を占めていましたが、コロナ禍の調査時点では大幅に減っています。収束後には頻度が調査時点から大きく上昇するものの、感染拡大前の頻度には及ばない見込みとなっています。

調査票 (世帯票)

世帯票

近畿圏パーソナルトリップ調査

世帯票

記入についてお願い
・黒の筆記用具で記入してください。
・回答は、この部分(回答欄)に記入し、回答欄が1などの選択式の場合は、(丸をつける)のように記入してください。
・世帯票に不足がある場合、その他不明な点がございましたらサポートセンターにご連絡ください。



国土地交通省 滋賀県 京都府 大阪府
兵庫県 奈良県 和歌山県 京都市
大阪市 堺市 神戸市

1 あなたの世帯の人数について、お答えください。
世帯の人数 うち 5才未満 人

2 あなたの現住所について、お答えください。
郵便番号 市区 郡町村 丁目 番 号

3 世帯でお持ちの自動車・二輪車の台数について、お答えください。
自動車 台 自動二輪車(50cc超) 台 原動機付自転車(50cc以下) 台 自転車 台

4 あなたの世帯の方、全員について、お答えください。ただし、5歳未満の方の記入は不要です。

Table with columns for household composition (世帯構成), gender (性別), age (年齢), employment status (就業形態), residence (勤務先・通学先・通園先の住所), type of residence (場所の種類), vehicle ownership (自動車運転免許), difficulty of going out (外出に關しての困難の有無), need for care (要介護認定の有無), and disability (障害者手帳の有無). Includes a sample entry (記入例).

- 7 続柄
1. 世帯主の配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 世帯主の父母
5. 世帯主の配偶者の父母
6. 孫
7. 祖父母
8. 兄弟姉妹
9. 他の親族
10. その他

- 8 就業(形態・状況)
【職業をお持ちの方】
1. 自営業主・家族従業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他
【職業をお持ちでない方】
7. 園児・生徒・学生など
8. 専業主婦・主夫
9. 無職

- 9 産業
1. 農業・林業・漁業(第一次産業従事者)
2. 鉱業・建設業・製造業(第二次産業従事者)
3. 上記以外(第三次産業従事者)

- 10 建物・場所の種類
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設・幼稚園・保育施設
3. 文化施設
4. 宗教施設
5. 医療・厚生・福祉施設
6. 事務所・会社・銀行
7. 官公庁
8. 問屋・卸売市場
9. 小規模小売店
10. 大規模小売店
11. 物産直売所
12. 飲食店
13. 宿泊施設
14. 娯楽・レクリエーション施設
15. 工場・作業所
16. 交通・輸送施設
17. 供給・処理施設
18. 倉庫
19. 公園・緑地
20. 塚・山・川などの自然
21. 商店街など「まち」
22. 体育・スポーツ施設
23. 農林漁業作業地・施設
24. 工事現場・その他

- 11 外出に關しての困難
1. 困難ではない(保護者の同伴が必要な幼児を含む)
2. 多少困難はあるが、一人で外出できる(杖などの補助具があれば一人で外出できる方)
3. 一部で介助者が必要(公共交通を利用する際など、必要な部分で介助があれば一人で外出できる方)
4. 常に介助者が必要(介助者の同行が常に必要であれば外出できる方)
5. 基本的に外出できない(病気などにより覆たきで外出できない方)

- 12 要介護認定
1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5

- 13 身体障害者手帳
1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 平衡機能障害
4. 音声・言語・しゃく機能障害
5. 肢体不自由
6. 内臓障害

ひきつづき、ご家族で5歳以上の方は、記入例を参照して、個人票をご記入ください。

解説表

個人票・世帯票の該当する設問に下表の具体的な内容を確認してお答えください

就業(形態・状況)の種類
種類 注意点など
1. 自営業主・家族従業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他
7. 園児・生徒・学生など
8. 専業主婦・主夫
9. 無職

A 建物・場所の種類
種類 具体的な内容
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設・幼稚園・保育施設
3. 文化施設
4. 宗教施設
5. 医療・厚生・福祉施設
6. 事務所・会社・銀行
7. 官公庁
8. 問屋・卸売市場
9. 小規模小売店
10. 大規模小売店
11. 物産直売所
12. 飲食店
13. 宿泊施設
14. 娯楽・レクリエーション施設
15. 工場・作業所
16. 交通・輸送施設
17. 供給・処理施設
18. 倉庫
19. 公園・緑地
20. 塚・山・川などの自然
21. 商店街など「まち」
22. 体育・スポーツ施設
23. 農林漁業作業地・施設
24. 工事現場・その他

D 駐輪場所(バイクも含む)
1. 道路上・歩道上の駐輪場所
2. 月極の駐輪場(道路外)
3. 時間貸しの駐輪場(道路外)
4. 目的地の施設の駐輪場(自宅を含む)
5. 駅前広場内の駐輪場所
6. 駐輪場は使わなかった

E 駐車場
1. パーキングメーター・パーキングチケット
2. 月極の駐車場(道路外)
3. 時間貸しの駐車場(道路外)
4. 目的地の施設の駐車場(自宅を含む)
5. 駅前広場内の駐車場
6. 駐車場は使わなかった

B 活動の種類
種類 具体的な内容
11. 食品・日用品の買物
12. 食品・日用品以外の買物
13. 食事
14. 社交
15. 娯楽
16. 文化
17. 通院・リハビリ
18. デイサービス
19. 送り迎え
20. 散歩・ジョギング
21. サイクリング
22. 買い物・スポーツジム通い
23. 地域活動・ボランティア
24. その他日常的な活動
31. 観光
32. 祭り・イベント等
33. 宿泊・保養
34. ハイキング・スポーツ競技
35. 体験型レジャー
36. その他非日常的な活動
41. 打合せ・会議・集金・住診
42. 販売・配達・仕入れ・購入
43. 作業・修理
44. 農林漁業作業
45. その他

C 移動手段の種類
種類 具体的な内容
10. 徒歩(シニアカー含む)
21. 車いす
31. 自転車
32. レンタサイクル・コミュニティサイクル
41. 原動機付自転車(50cc以下)
51. 自動二輪車(50cc超)
61. 軽乗用車
62. 軽貨物車
63. 乗用車
64. 貨物自動車
65. レンタカー・カーシェア
71. 路線バス
72. コミュニティバス
73. BRT
74. 自家用バス・貸切バス
81. 鉄道、地下鉄・新交通・モノレール
82. 新幹線
91. タクシー・ハイヤー
92. ユニバーサルデザインタクシー
93. デマンドタクシー
94. 介護タクシー、福祉有償運送
95. 航空機
96. フェリー・船舶
97. その他

個人票の該当する設問への回答にあたっての留意点
・自営業や個人事務所などで、自宅と勤務先が同じ方
・自宅兼事務所などで活動された場合に、「いた場所」は、自営業や個人事務所などで、自宅と勤務先が同じ場合は、自宅として利用した時間が長ければ「自宅」とし、勤務先として活動した時間が長ければ「勤務・通学先」としてご記入ください。
・自営で農林漁業などを専業で営まれている方
・田・畑に農林漁業などの作業に行かれた場合の場所は「その他」としてご記入ください。
・「学生・生徒」の方がアルバイトなどに行かれた場合
・場所は「勤務・通学先」ではなく「その他」とし、活動の種類はアルバイトの内容に応じて「仕事・業務」の中からお選びください。
・勤務先に仕事以外の活動で、また通学先に勉強・クラブ活動以外の活動で行かれた場合
・場所は「その他」として、住所欄には「勤務先」ないしは「通学先」と記入していただき、そこでの活動の種類をお選びください。
・回答にあたっては「調査票 記入の手引き」をご確認ください。その他不明な点がございましたらサポートセンターにご連絡ください。

調査票 (個人票)

個人票 (平日)

近畿圏パーソントリップ調査
⑥ 個人票 平日

あなたの平日調査日は 令和3年 月 日 (曜日)

「調査のご説明」に記載してある調査日を記入してください

午前3時から翌日午前3時までのすべての活動・移動についてお伺いします。

政府統計

ステップ1 はじめにお答えください。

世帯票であなたは何人目に記入しましたか? 人目

調査日に家から外出しましたか? 1 はい 2 いいえ

世帯票の「就業形態」で1〜7を選んだ方のみ回答してください。

調査日に在宅勤務(テレワーク)をしましたか?
または、通学している学校のオンライン授業を受講しましたか?
上の質問で「1はい」と回答した方のみお答えください。

それは新型コロナウイルスの影響によるものですか? 1 はい 2 いいえ

外出した方はステップ2へ、外出しなかった方はうらへ

ステップ2 あなたがいた場所すべて(自宅、職場等)を一つ一つ順番に記入してください。
(送り迎え、取付)をした場合はその場所も記入

その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

1番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

2番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

3番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

4番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

5番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

6番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

ステップ3 左で答えた場所と場所の間の「移動」についてお答えください。

移動時刻	移動手段	駐輪・駐車場所	乗り換えた駅など	乗車した車、運行者について
出発				
到着				

A 建物・場所の種類
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設、幼稚園・保育施設
3. 文化施設
4. 宗教施設
5. 医療・厚生・福祉施設
6. 事務所・会社・銀行
7. 官公庁
8. 問屋・卸売市場
9. 小規模小売店
10. 大規模小売店
11. 物産直売所
12. 飲食店
13. 宿泊施設
14. 娯楽・レクリエーション施設
15. 工場・作業所
16. 交通・輸送施設
17. 供給・処理施設
18. 倉庫
19. 公園・緑地
20. 海・山・川などの自然地
21. 商店街など「まち」
22. 体育・スポーツ施設
23. 農林漁業作業地・施設
24. 工事現場・その他

B 活動の種類
11. 食品・日用品の買い物
12. 食品・日用品以外の買い物
13. 食事
14. 社交
15. 娯楽
16. 文化
17. 通院・リハビリ
18. デイサービス
19. 送り迎え
20. 散歩・ジョギング
21. サイクリング
22. 買い物・スポーツジム通い
23. 地域活動・ボランティア
24. その他日常的な活動
31. 観光
32. 祭り・イベント等
33. 宿泊・保養
34. ハイキング・スポーツ競技
35. 体験型レジャー
36. その他非日常的な活動

C 移動手段の種類
10. 徒歩(シニアカー含む)
21. 車いす
31. 自転車
32. レントサイクル・コミュニティサイクル
41. 原動機付自転車(50cc以下)
51. 自動二輪車(50cc超)
61. 軽乗用車 62. 軽貨物車
63. 乗用車 64. 貨物自動車
65. レンタカー・カーシェア
71. 路線バス
72. コミュニティバス
73. BRT
74. 自家用バス・貸切バス
81. 鉄道・地下鉄・新交通・モノレール
82. 新幹線
91. タクシー・ハイヤー
92. ユニバーサルデスタクシー
93. デマンドタクシー
94. 介護タクシー、福祉有償運送
95. 航空機
96. フェリー・船舶
97. その他

D 駐輪場所(バイクも含む)
1. 道路上・歩道上の駐輪場所
2. 月極の駐輪場(道路外)
3. 時間貸しの駐輪場(道路外)
4. 目的地の施設の駐輪場(自宅を含む)
5. 駐輪場は使わなかった

E 駐車場
1. パーキングメーター・パーキングチケット
2. 月極の駐車場(道路外)
3. 時間貸しの駐車場(道路外)
4. 目的地の施設の駐車場(自宅を含む)
5. 駅前広場内の駐車場
6. 駐車場は使わなかった

ステップ4 バス・電車の乗車券で敬老バス・福祉乗車証(無料・割引含む)を利用しましたか。 1 利用 2 非利用

7番目以降があれば、サポートセンターにご連絡ください。 ひきつづき、うらへ 休日 調査票にも記入をお願いします。

個人票 (休日)

近畿圏パーソントリップ調査
⑥ 個人票 休日

あなたの休日調査日は 令和3年 月 日 (日曜日)

「調査のご説明」に記載してある調査日を記入してください

午前3時から翌日午前3時までのすべての活動・移動についてお伺いします。

ステップ1 はじめにお答えください。

調査日に家から外出しましたか? 1 はい 2 いいえ

調査日の主たる活動は、どの程度の頻度で行っていますか?
1 ほぼ毎週 2 月に数回程度 3 年に数回程度
4 数年に1回程度 5 はじめて

世帯票の「就業形態」で1〜7を選んだ方のみ回答してください。

調査日に在宅勤務(テレワーク)をしましたか?
または、通学している学校のオンライン授業を受講しましたか?
上の質問で「1はい」と回答した方のみお答えください。

それは新型コロナウイルスの影響によるものですか? 1 はい 2 いいえ

外出した方はステップ2へ、外出しなかった方は調査終了です

ステップ2 あなたがいた場所すべて(自宅、職場等)を一つ一つ順番に記入してください。
(送り迎え、取付)をした場合はその場所も記入

その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

1番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

2番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

3番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

4番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

5番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

6番目の目的地 その場所は?
1 自宅 2 勤務・通学先
3 その他(以下も記入してください)

場所の種類 A から選択
住所 市区町村 丁目 番地 号
施設名称*1
そこで何をしていましたか? B から選択
目的地での消費額 あなたの支払い総額*2

ステップ3 左で答えた場所と場所の間の「移動」についてお答えください。

移動時刻	移動手段	駐輪・駐車場所	乗り換えた駅など	乗車した車、運行者について
出発				
到着				

A 建物・場所の種類
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設、幼稚園・保育施設
3. 文化施設
4. 宗教施設
5. 医療・厚生・福祉施設
6. 事務所・会社・銀行
7. 官公庁
8. 問屋・卸売市場
9. 小規模小売店
10. 大規模小売店
11. 物産直売所
12. 飲食店
13. 宿泊施設
14. 娯楽・レクリエーション施設
15. 工場・作業所
16. 交通・輸送施設
17. 供給・処理施設
18. 倉庫
19. 公園・緑地
20. 海・山・川などの自然地
21. 商店街など「まち」
22. 体育・スポーツ施設
23. 農林漁業作業地・施設
24. 工事現場・その他

B 活動の種類
11. 食品・日用品の買い物
12. 食品・日用品以外の買い物
13. 食事
14. 社交
15. 娯楽
16. 文化
17. 通院・リハビリ
18. デイサービス
19. 送り迎え
20. 散歩・ジョギング
21. サイクリング
22. 買い物・スポーツジム通い
23. 地域活動・ボランティア
24. その他日常的な活動
31. 観光
32. 祭り・イベント等
33. 宿泊・保養
34. ハイキング・スポーツ競技
35. 体験型レジャー
36. その他非日常的な活動

C 移動手段の種類
10. 徒歩(シニアカー含む)
21. 車いす
31. 自転車
32. レントサイクル・コミュニティサイクル
41. 原動機付自転車(50cc以下)
51. 自動二輪車(50cc超)
61. 軽乗用車 62. 軽貨物車
63. 乗用車 64. 貨物自動車
65. レンタカー・カーシェア
71. 路線バス
72. コミュニティバス
73. BRT
74. 自家用バス・貸切バス
81. 鉄道・地下鉄・新交通・モノレール
82. 新幹線
91. タクシー・ハイヤー
92. ユニバーサルデスタクシー
93. デマンドタクシー
94. 介護タクシー、福祉有償運送
95. 航空機
96. フェリー・船舶
97. その他

D 駐輪場所(バイクも含む)
1. 道路上・歩道上の駐輪場所
2. 月極の駐輪場(道路外)
3. 時間貸しの駐輪場(道路外)
4. 目的地の施設の駐輪場(自宅を含む)
5. 駐輪場は使わなかった

E 駐車場
1. パーキングメーター・パーキングチケット
2. 月極の駐車場(道路外)
3. 時間貸しの駐車場(道路外)
4. 目的地の施設の駐車場(自宅を含む)
5. 駅前広場内の駐車場
6. 駐車場は使わなかった

ステップ4 バス・電車の乗車券で敬老バス・福祉乗車証(無料・割引含む)を利用しましたか。 1 利用 2 非利用

7番目以降があれば、サポートセンターにご連絡ください。